議案第１号関係

令和６年度
角田市地域公共交通計画に係る基礎データ整理等業務委託

業務報告書

令和７年３月

株式会社ケーシーエス　東北支社

［目　次］

1．業務の概要 1
1－1 業務の目的等 1
1－2 業務の実施方針等 2
2．業務内容 4
2－1 地域特性の整理 4
2－2 公共交通の実態等の整理 31
2－3 打合せ協議 53

1．業務の概要

1-1 業務の目的等

1-1-1 業務の目的

本市では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 19 年法律第 59 号）第５条に基づき、令和７年度に地域公共交通のマスタープランとなる「角田市地域公共交通計画」の策定を予定している。

本業務は計画策定に向けて地域公共交通に係る基礎的な情報等の収集及び整理を行うことを目的とする。

1-1-2 業務の概要

本業務の概要は以下のとおりである。

業　　務　　名：角田市地域公共交通計画に係る基礎データ整理等業務
業 務 委 託 料：1,078,000 円（うち消費税及び地方消費税の額　98,000 円）
業務対象地域：角田市全域
工　　　　期：令和６年 12 月 25 日～令和７年３月 31 日
発　　注　　者：角田市 総務部　まちづくり推進課　定住交流係
受　　注　　者：株式会社ケー・シー・エス 東北支社

1-1-3 業務項目・数量

本業務の業務項目・数量は以下のとおりである。

表　業務項目・数量

業務項目	単位	数量	摘要
1. 計画準備	式	1	
2. 地域特性の整理	式	1	
3. 公共交通の実態等の整理	式	1	
4. 報告書の作成	式	1	
5. 打合せ協議	回	2	

1-2 業務の実施方針等

1-2-1 業務実施方針

業務の目的などを踏まえて、本業務は以下の方針に従って実施した。

方針１：地域の実態を効率的・効率的に把握するため、必要となる整理を切り分けて実施
○工期が限られている中で、効率的・効果的に地域の「実態」を把握するため、把握すべき項目に応じて必要となる整理を行うことで、発注者・受注者間で速やかに必要となるデータ等の共有を行い、効果的かつ詳細に地域の実態を把握する。

方針２：角田市の地域特性等を十分に考慮し、公共交通の実態を整理
○角田市内の人口分布は用途地域内に集中する一方、郊外部に人口が広く点在しており、中心部内、あるいは中心部⇔郊外部 4 エリア間でデマンド交通が主に移動を担っていることから、エリア毎の地域特性を十分に考慮し、公共交通の実態整理を行うものとする。

1-2-2 業務フロー

本業務は、以下のフローに沿って執り行った。

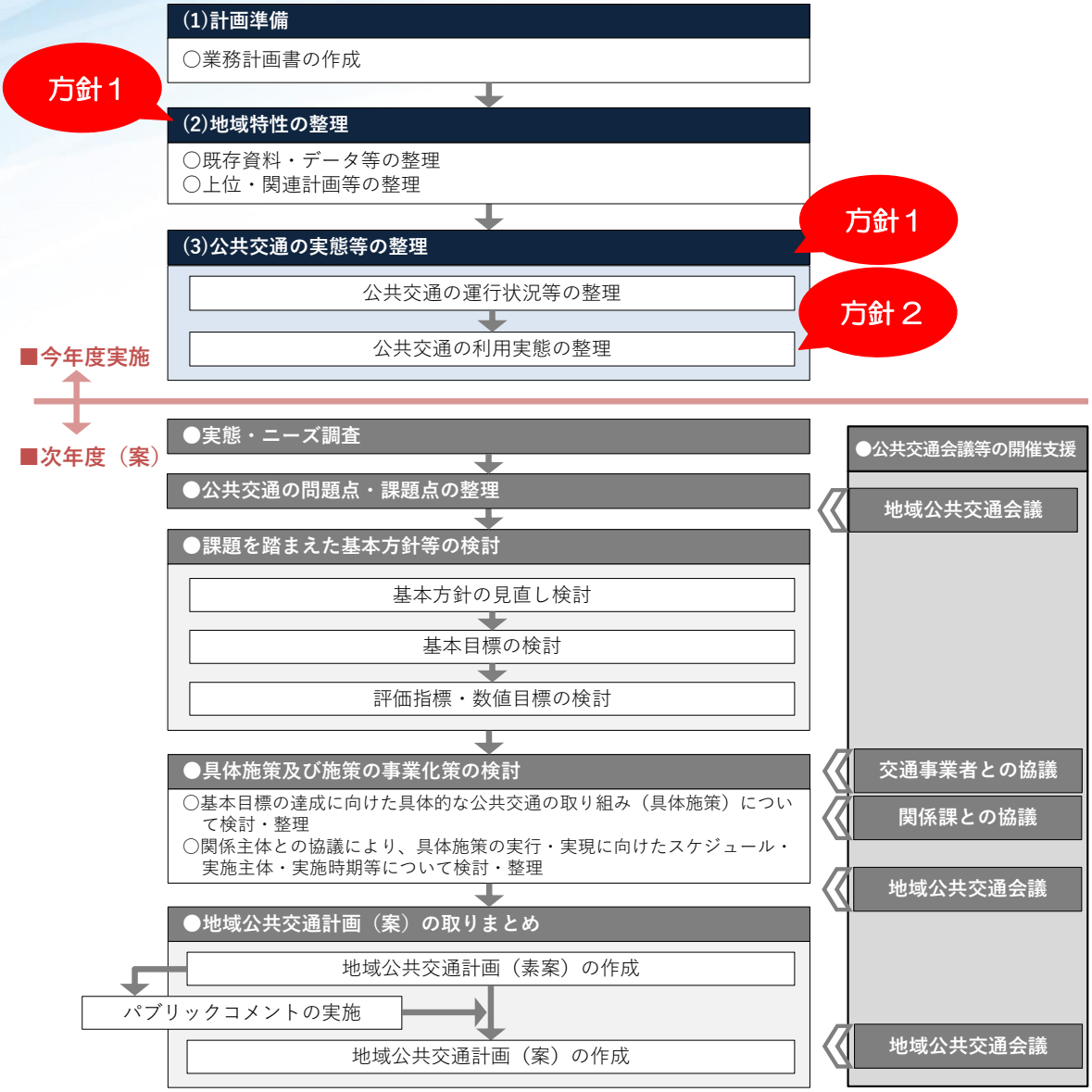


図　業務フロー

2. 業務内容

2-1 地域特性の整理

2-1-1 人口特性の整理

1） 総人口・将来人口の推移

本市の総人口は減少傾向にあり、2045 年には 20,000 人を下回る見込みである。

年齢別人口については 15 歳未満と 15～64 歳が一貫して減少傾向となっている。一方で 65 歳以上は 2025 年まで増加傾向となっているが、その後は減少する見込みである。

また 2020 年時点で本市の高齢化率が 35.8%である一方、宮城県の高齢化率は 28.3%となっており、県全体よりも高齢化が進んでいる状況にある。

将来推計人口でも、一貫して人口が減少する見込みであるほか、2030 年以降は高齢化率が 40%を上回る見込みとなっている。

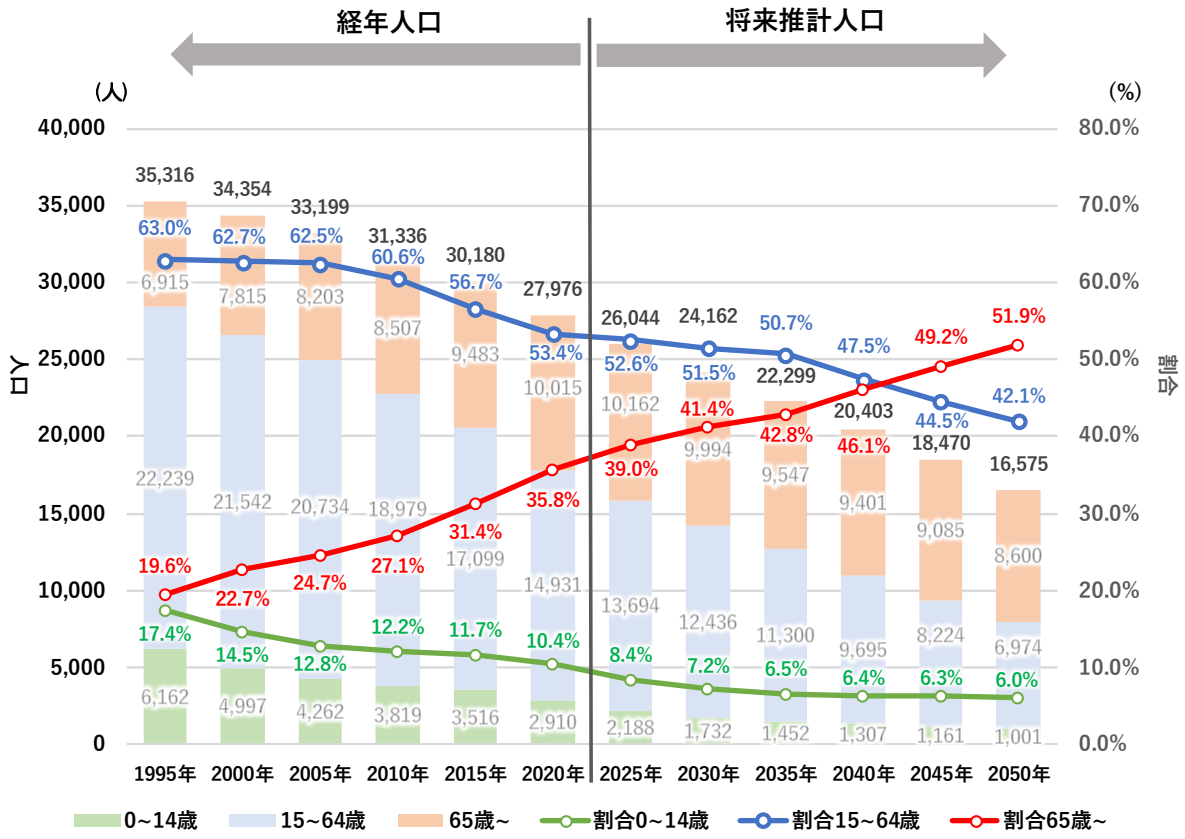


図　年齢階層別の総人口・将来人口の推移

出典：実績値/国勢調査（H7～R2）、将来推計値/国立社会保障・人口問題研究所

2） 世帯数

総世帯数は過去 20 年間、10,000 世帯前後で推移している。

一方で 65 歳以上世帯員がいる世帯数割合は一貫して上昇しており、2020 年には 59.1%(2005 年比で約 8%増)となっている。

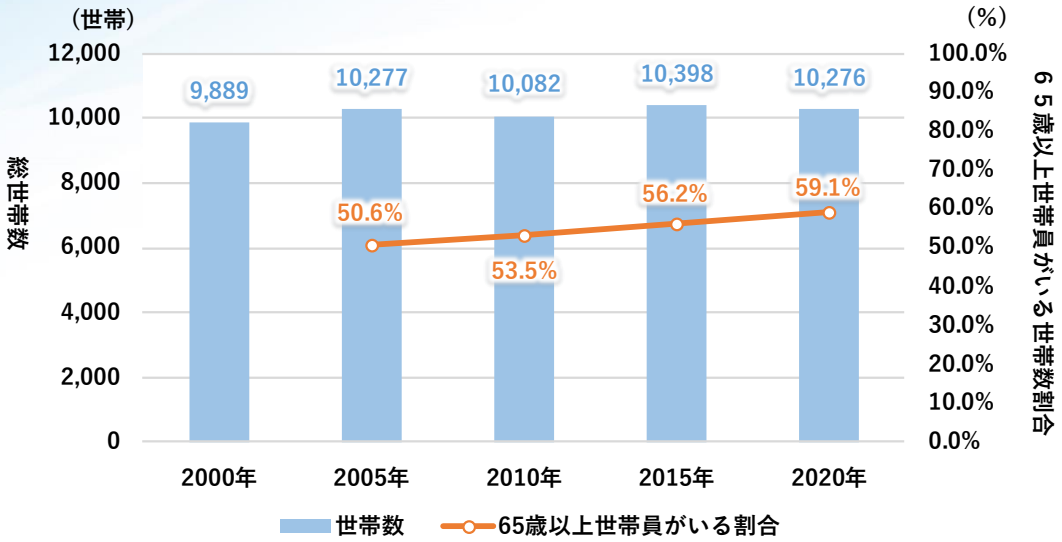


図　総世帯数および 65 歳以上世帯員がいる世帯数割合の推移

出典：実績値/国勢調査（H12～R2、65 歳以上世帯員数は H17～R2）

3） 地区別居住人口

地区別居住人口は、令和 6 年における桜地区を除き、全ての地域・年度で減少している。

なお平成 29 年度から令和 6 年度までの減少数は角田地区が 1,334 人と最も多く、減少率は西根地区が 20.6%（減少数 476 人）と最も高い。

表　行政区別居住人口(単位：人)

	H29 年	H30 年	R1 年	R2 年	R3 年	R4 年	R5 年	R6 年
角田	14,808	14,688	14,548	14,270	14,018	13,881	13,688	13,474
枝野	1,768	1,727	1,683	1,633	1,595	1,553	1,508	1,450
藤尾	2,575	2,512	2,464	2,399	2,313	2,249	2,167	2,070
東根	1,265	1,231	1,186	1,143	1,114	1,094	1,071	1,017
桜	3,580	3,539	3,478	3,447	3,434	3,420	3,408	3,428
北郷	3,700	3,667	3,584	3,530	3,429	3,374	3,317	3,195
西根	2,311	2,265	2,179	2,128	2,046	1,995	1,931	1,835

出典：角田市 HP(R6 のみ 2024/12/31 時点での数値、他年度は年度末時点)

4） 人口分布

① 人口の分布状況

人口の分布状況をみると、角田駅周辺の市中心部に人口が集積するほか、その他の駅や小学校周辺などにも人口の集積が確認できる。

その他の地域では、人口が 10 人未満・10～50 人未満のエリアが広く点在する。

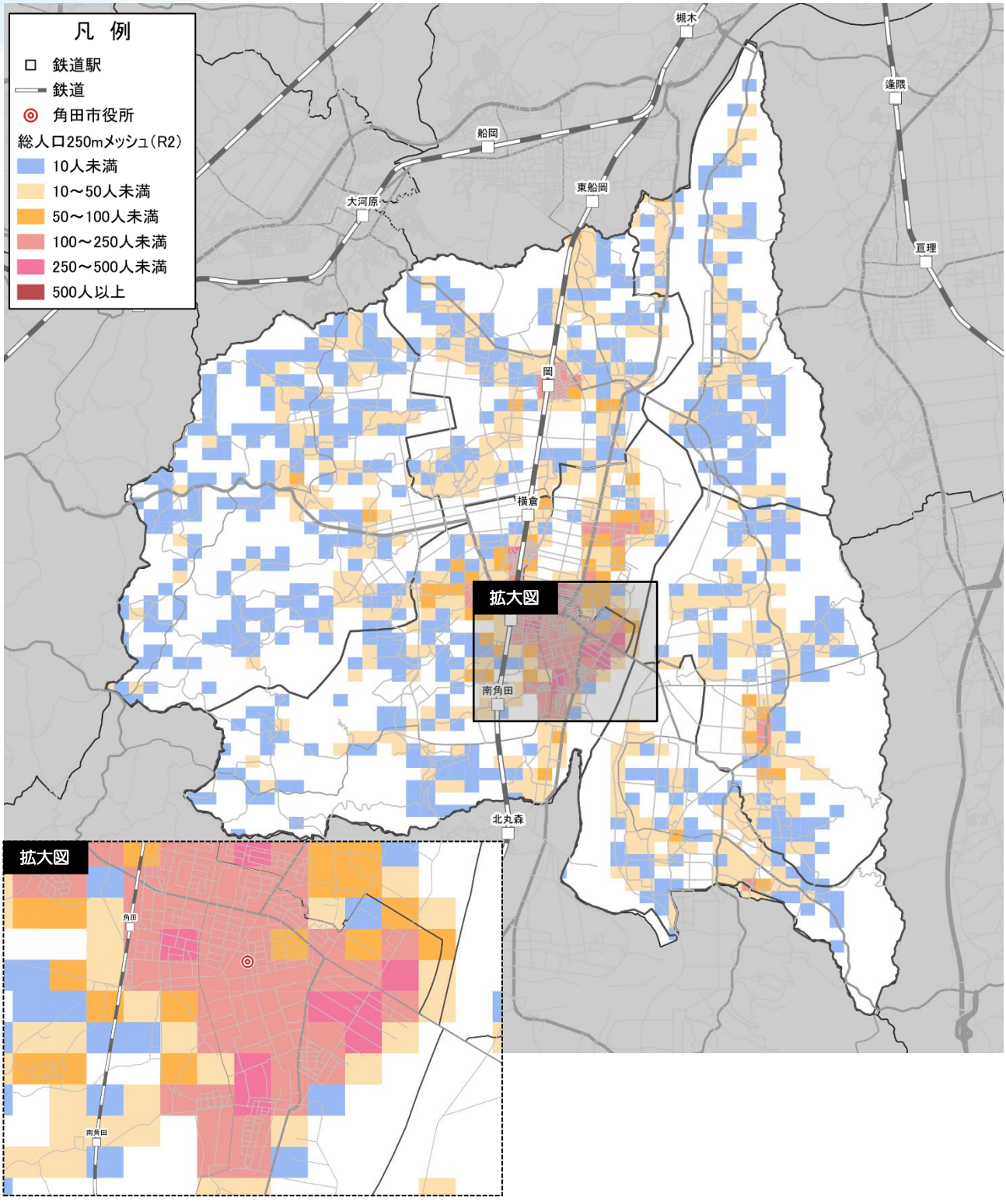


図　人口分布状況

出典：国勢調査（R2）

② 高齢者

高齢者（65 歳以上）が占める割合をみると、角田駅周辺の市中心部では高齢化率 25%未満のエリアが広がる一方、その他の地域では高齢化率 50%以上のエリアが広く分布している。

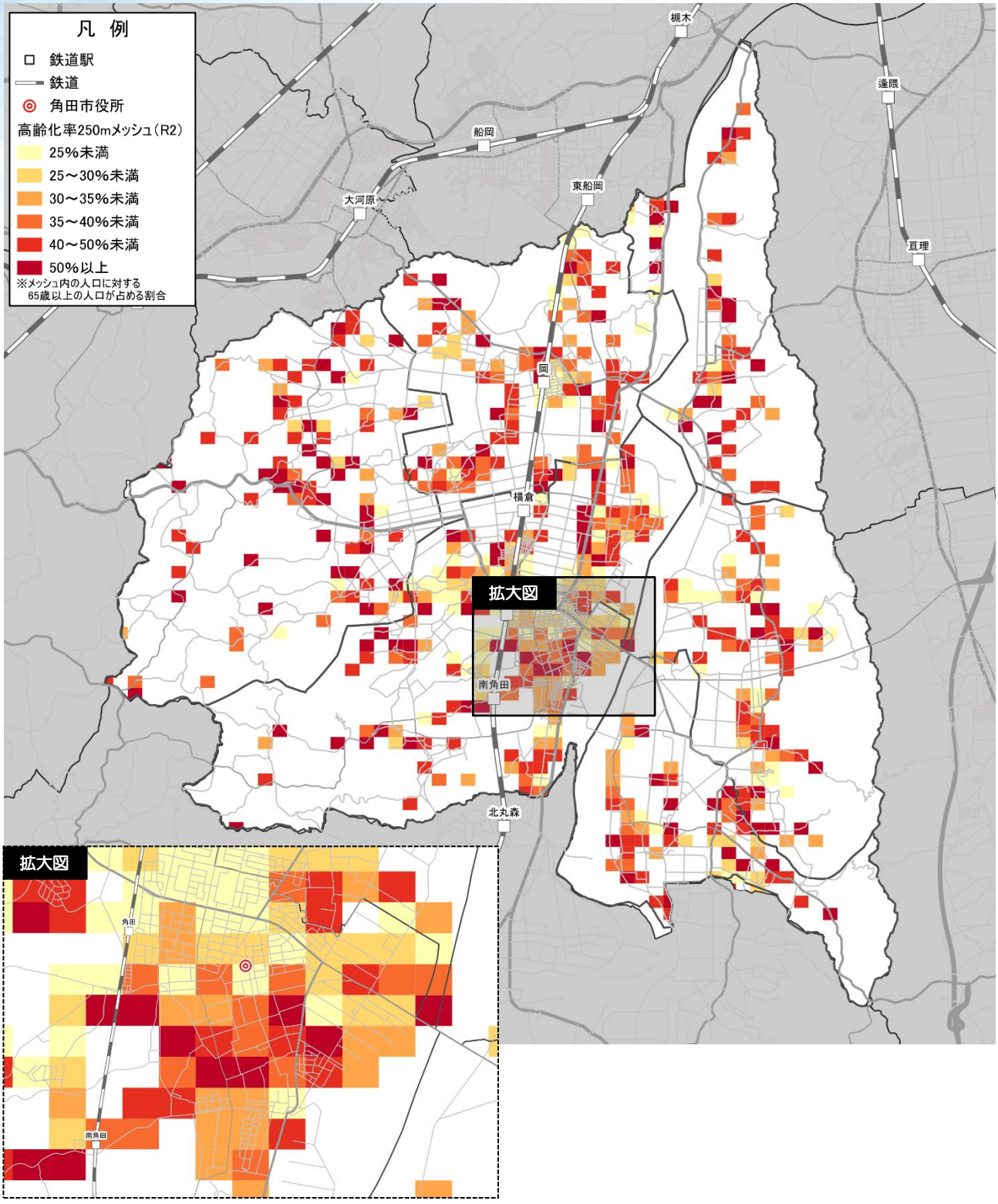


図　高齢化率

出典：国勢調査（R2）

1） DID（人口集中地区）

平成 27 年にと比較し、令和 2 年の DID（人口集中地区）は北側において拡大した一方、中央部と南側においては縮小がみられた。全体の面積は 0.03 ㎢の微減となり、人口はおよそ 500 人の減少となった。

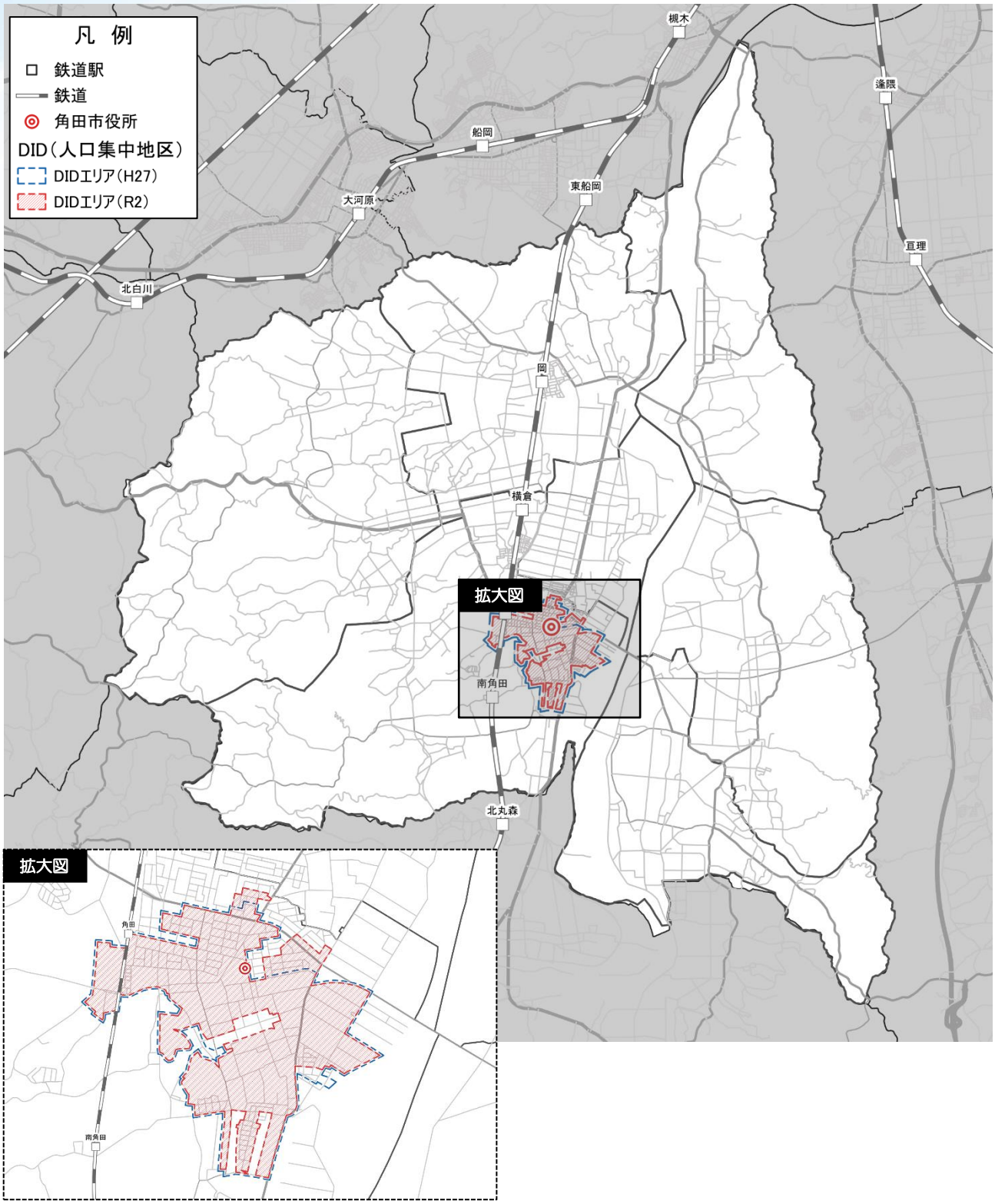


図　DID の分布状況

出典：国勢調査(R2)

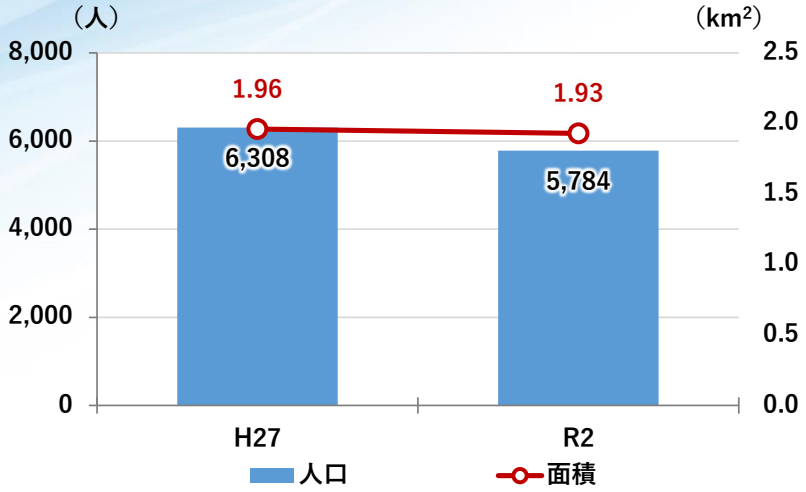


図　DID における人口及び面積の推移

出典：統計局 HP

2） 都市計画区域

① 都市計画区域の概要

都市計画区域は市内の阿武隈急行線全区間を含む形で設定されている。また区域東端はおおよそ阿武隈川の西岸に沿っている。

また仙南広域における将来的な都市構造では、本市の都市計画区域が都市拠点と工業・物流拠点に設定されているほか、都市計画区域外においても「道の駅　かくだ」を含む枝野字周辺が観光拠点に設定されている。

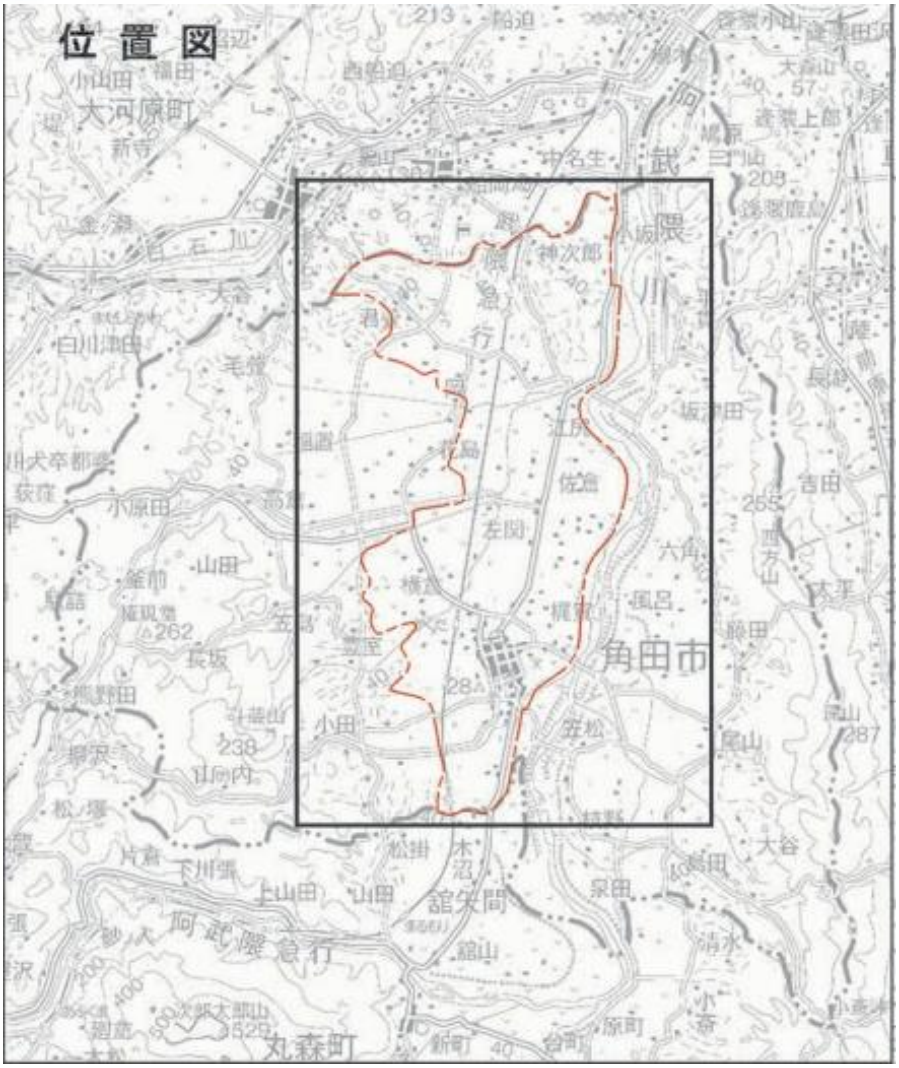
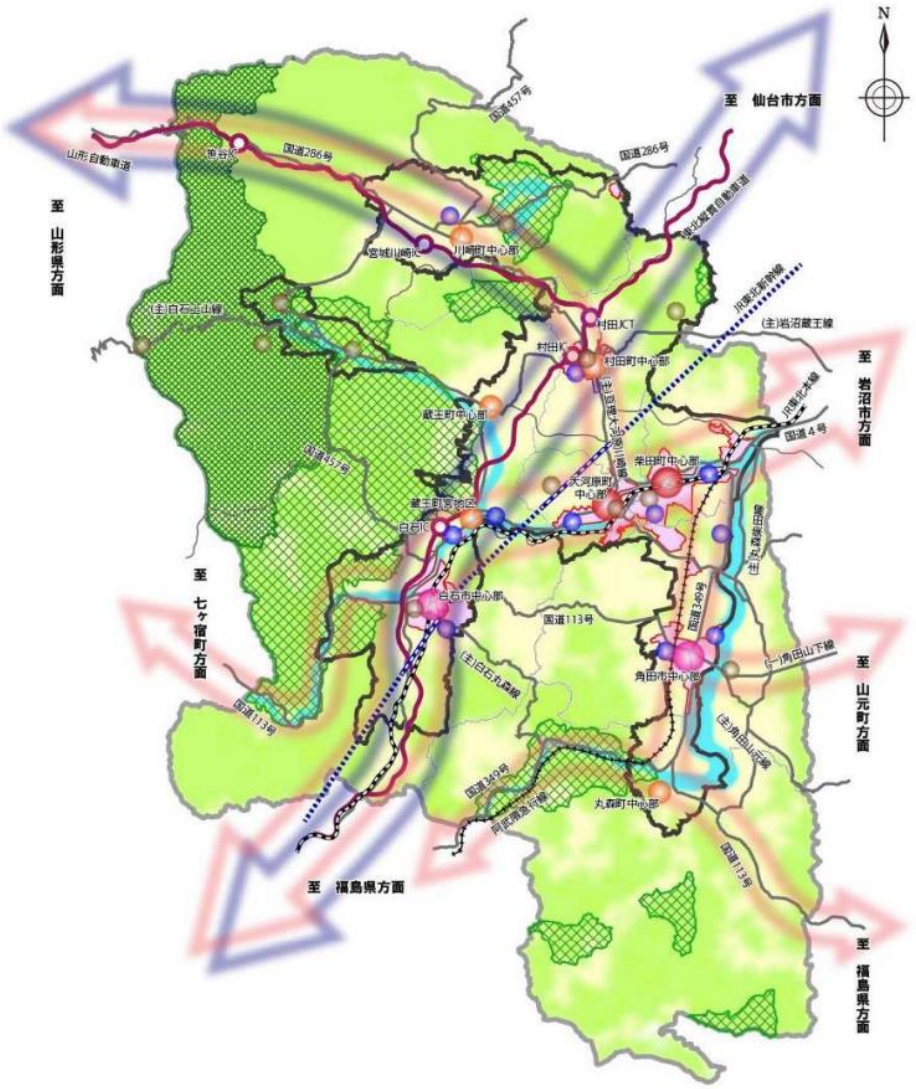


図　都市計画区域

出典：角田市 HP
※オレンジ色の線が都市計画区域

■都市の将来構造



区 域		拠 点		交通・連携軸		土地利用ゾーニング	
	行政界		圏域拠点	鉄道軸	JR東北新幹線		市街地ゾーン
	都市計画区域		都市拠点		JR東北本線		田園・集落共生ゾーン
	用途地域		地域拠点		阿武隈急行線		自然環境保全・活用ゾーン
	河川・湖沼		工業・物流拠点	幹線道路軸	自動車専用道路		国定公園
			観光拠点		主要幹線道路		県立自然公園等
					その他幹線道路		
				政策軸	都市圏連携軸		
					工業・物流機能集積軸		

図　宮城県都市計画区域マスタープランにおける仙南広域区域の
都市の将来構造

出典：宮城県都市計画区域マスタープラン

② 用途地域

市の中心部においても住居専用地域が指定されている一方で、工業地域や工業専用地域も指定されている。また北部に工業専用地域を有しており、JAXA 角田宇宙センターなどが立地している。

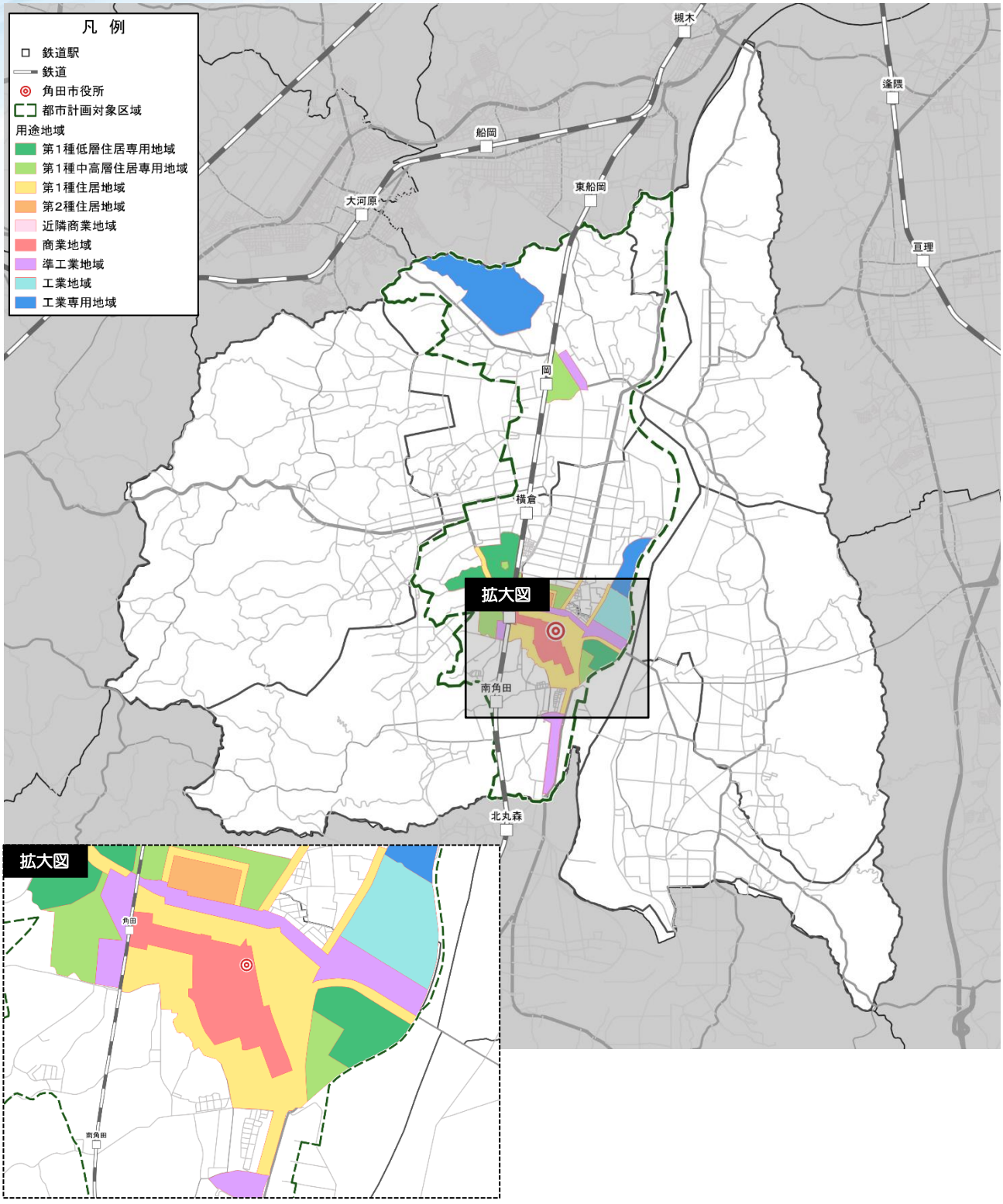


図　用途地域

出典：角田市 HP

3） 土地利用

角田駅東側が主に建物用地として設定されており、郊外部に田や農用地が広がっている。
また、北部・西部・東部の市域付近には森林が広く分布する。

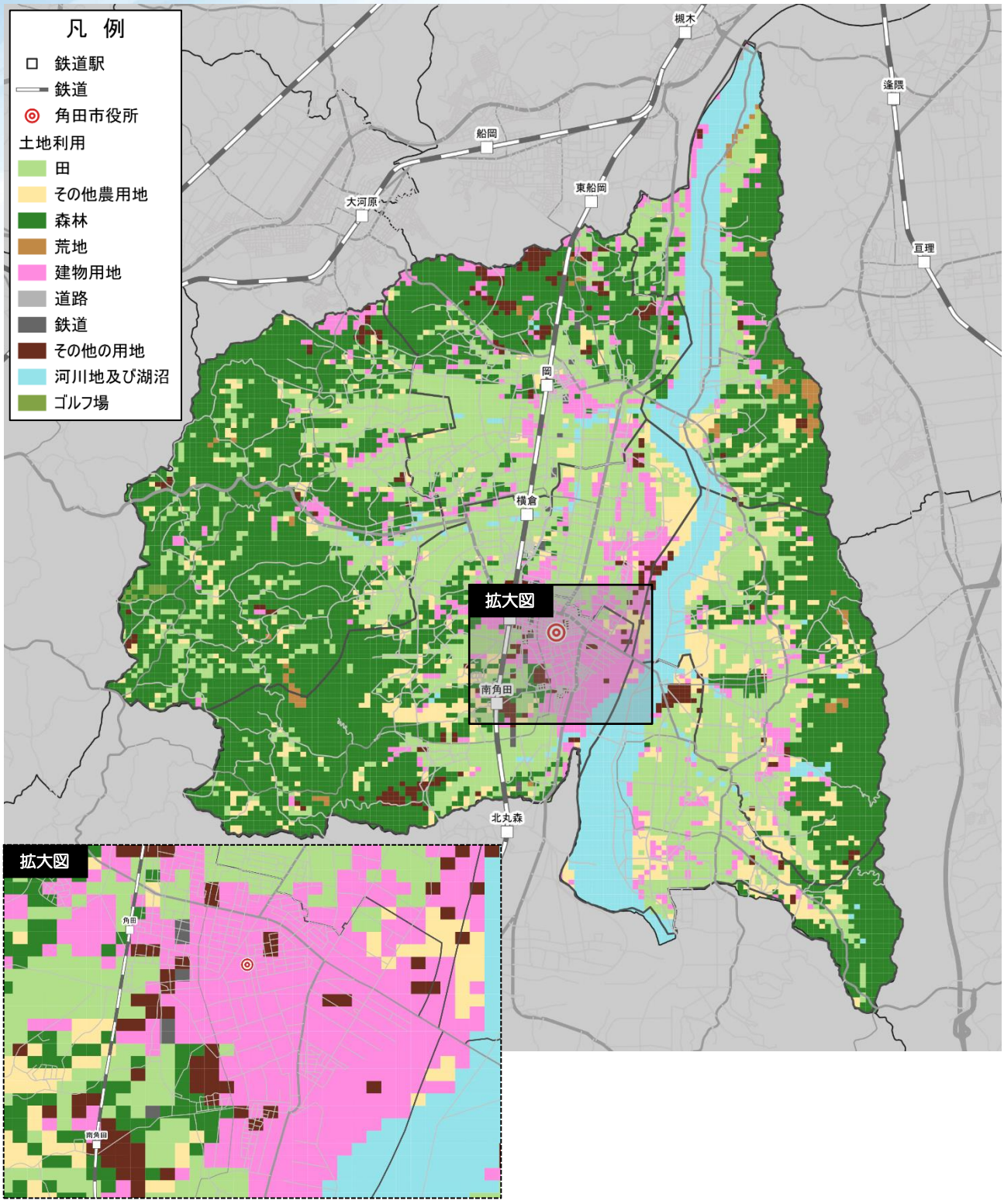


図　土地利用状況

出典：国土数値情報

2-1-3 自家用車の整理

1） 自家用車の保有台数

自動車保有台数の推移は、微減傾向にある。2022 年から 2023 年にかけては 64 台の増加となっているが、それ以外の年では減少している傾向にある。

1 世帯あたりの保有台数は緩やかに減少する傾向にあり、2024 年には 2.50 台/世帯まで減少する。

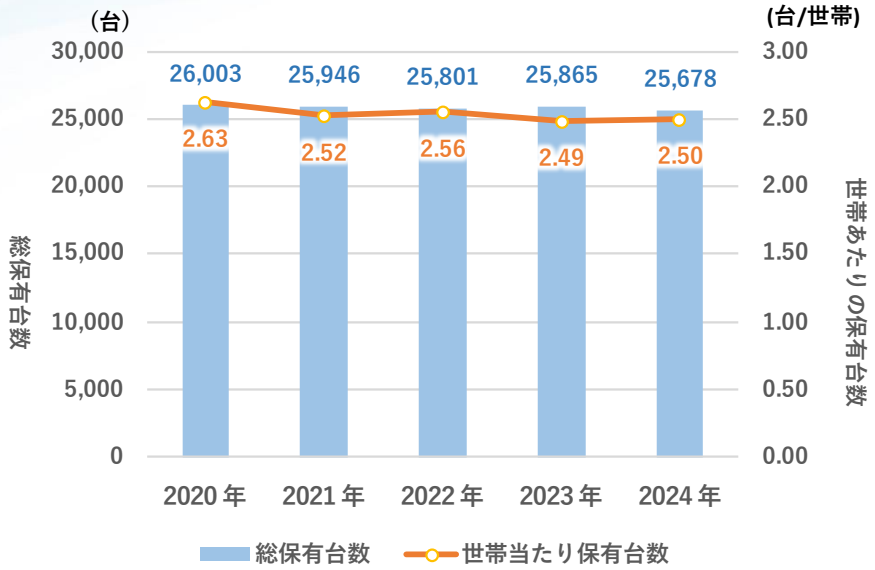


図　自動車保有台数および世帯あたりの保有台数の推移

出典：国土交通省東北運輸局 HP

2） 自動車運転免許証の保有者数・75 歳以上の保有者割合

自動車運転免許証の保有者数推移は、緩やかに減少している。2024 年の保有者数は 2022 年比でおよそ 3.3 ポイント減となる 19,491 台であった。

一方で 75 歳以上の保有者割合は一貫して上昇傾向にあり、2024 年は 2020 年比で 3.3 ポイント増となる 12.6%であった。

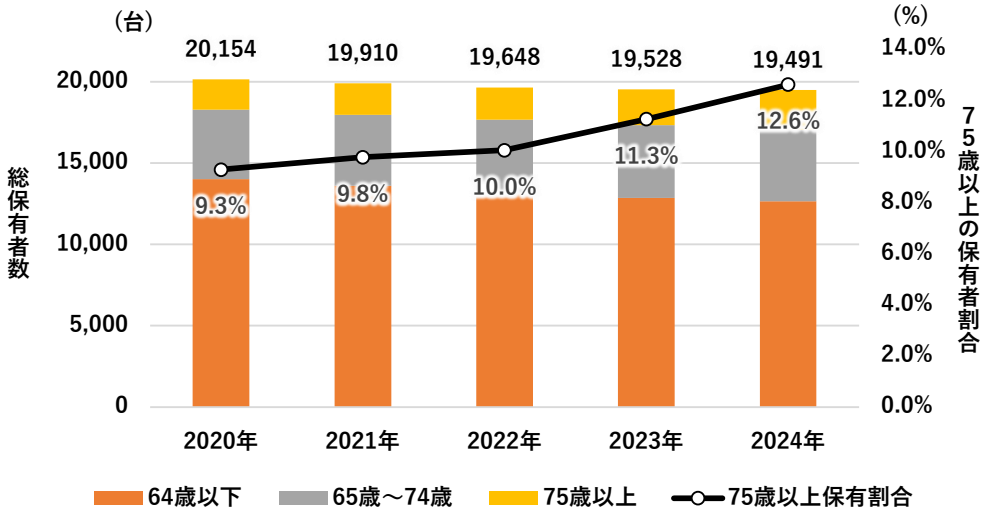


図　年齢層別自動車総保有台数および 75 歳以上の保有者割合の推移

出典：宮城県 HP

3） 交通事故発生件数

2017 年に 86 件あった交通事故発生件数は、2021 年までに 39 件と半数以上の減少となったが、2022 年には前年比で 15 件の増加となる 54 件の事故が発生した。

図　交通事故発生件数の推移

出典：オープンデータみやぎ（県警関係）

2-1-4 観光状況の整理

1） 観光客入込客数

2019 年の「道の駅 かくだ」のオープンに伴い、2019 年以降の観光入込客数は飛躍的に増加した。

2020 年には新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、約 90 万人まで減少したものの、その後は増加傾向にあり、2023 年には 2019 年を上回る約 115 万人となった。

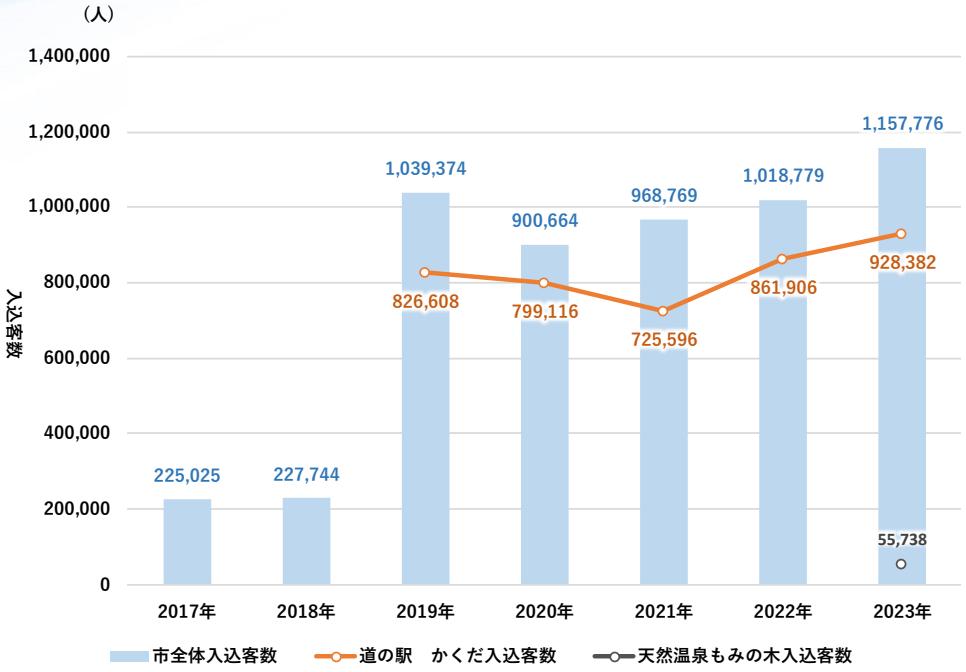


図 観光客入込客数の推移

出典：宮城県観光統計

※「道の駅 かくだ」が 2019 年オープン、「天然温泉 もみの木」が 2023 年オープン

2-1-5 移動特性の整理

1） 通勤流動

市外への流出は、柴田町が 867 人と最も多く、次いで仙台市が 788 人と続く。

市内への流入は、柴田町が 1,512 人と最も多く、次いで丸森町が 968 人と続く。

流入・流出共に阿武隈急行の沿線市町への流入出が特に多く、特に柴田町は流入・流出人数がいずれも最も多い。

また、仙台市を除いた全ての周辺市町からの流入人数が、流出人数を上回っている。

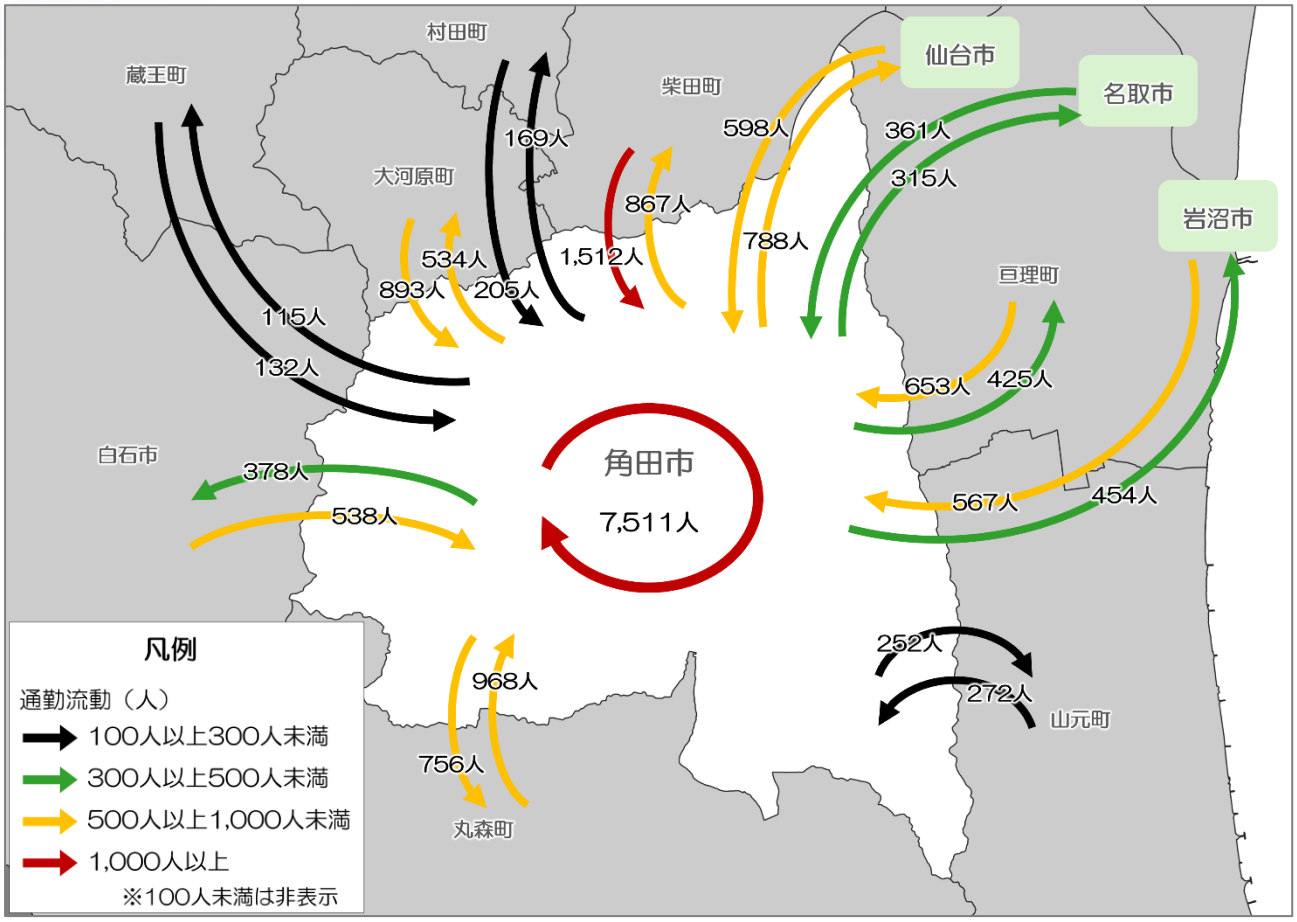


図　流動図（通勤）

出典：国勢調査(R2)

2） 通学流動

市外への流出は、仙台市が 275 人と最も多く、次いで白石市が 101 人と続いており、阿武隈急行沿線ではない白石市への流動人数も多い。

市内への流入は、柴田町が 81 人と最も多く、次いで丸森町が 75 人と続く。

多くの市町村に対して、流出人数が流入人数を上回る（柴田町のみ流入人数が多い）。

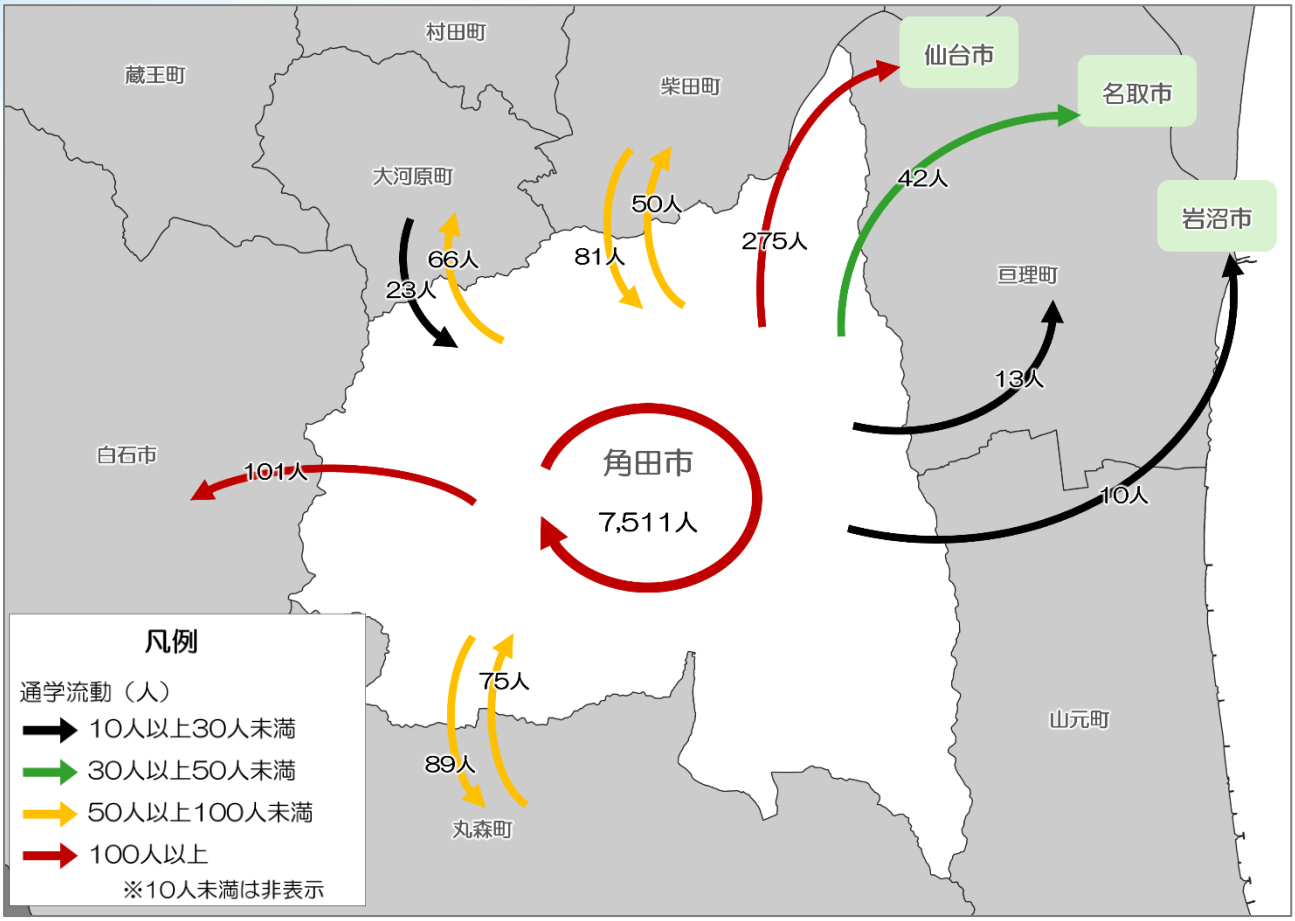


図　流動図（通学）

出典：国勢調査(R2)

3） 通勤・通学時の移動手段

本市における通勤・通学時の移動手段については、宮城県平均および仙台市に比べて圧倒的に自家用車の使用割合が高い。その一方、乗合バスや鉄道等のその他の交通モードの利用割合が県や仙台市と比較しいずれも低い状況にある。

角田市内で平日に運行する乗合バスは、デマンド型の「ラビットくん」のみであり、当該サービスの最終便が 16:00 であることなどから、通勤・通学時の移動手段として選択されにくいことが想定される。

また、鉄道利用割合は 6.8%存在しており、阿武隈急行を利用して柴田町をはじめとして仙台市や丸森町等、沿線市町への通勤通学手段として一定の利用があることが想定される。

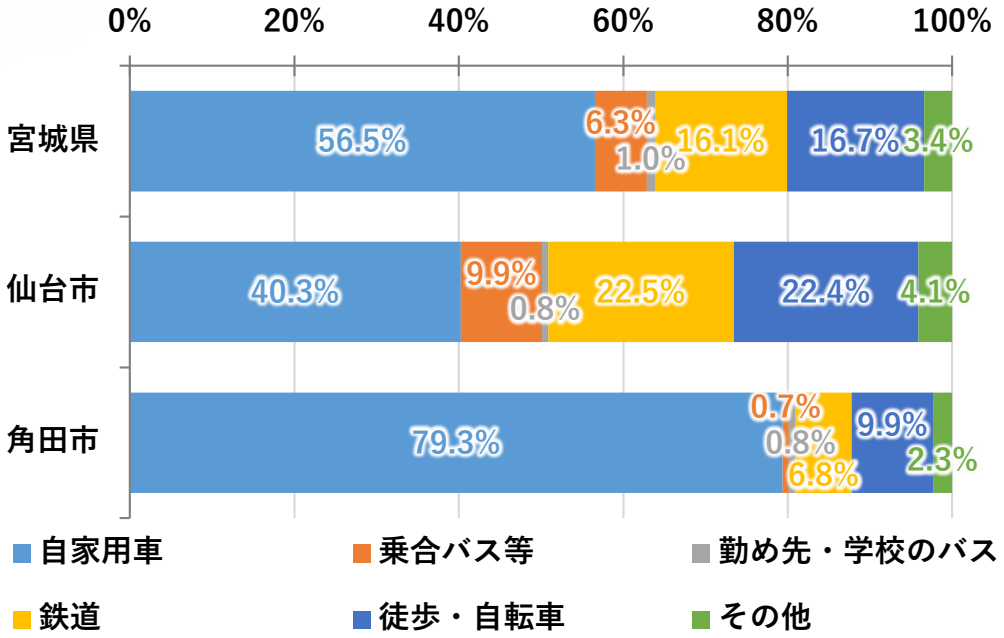


図　宮城県と仙台市、角田市における通勤・通学時の移動手段

出典：国勢調査(R2)

1） 施設の分布

① 公共施設の立地状況

各行政区にある自治センターを除くと、市中心部と「道の駅 かくだ」がある枝野字に施設が集中している。

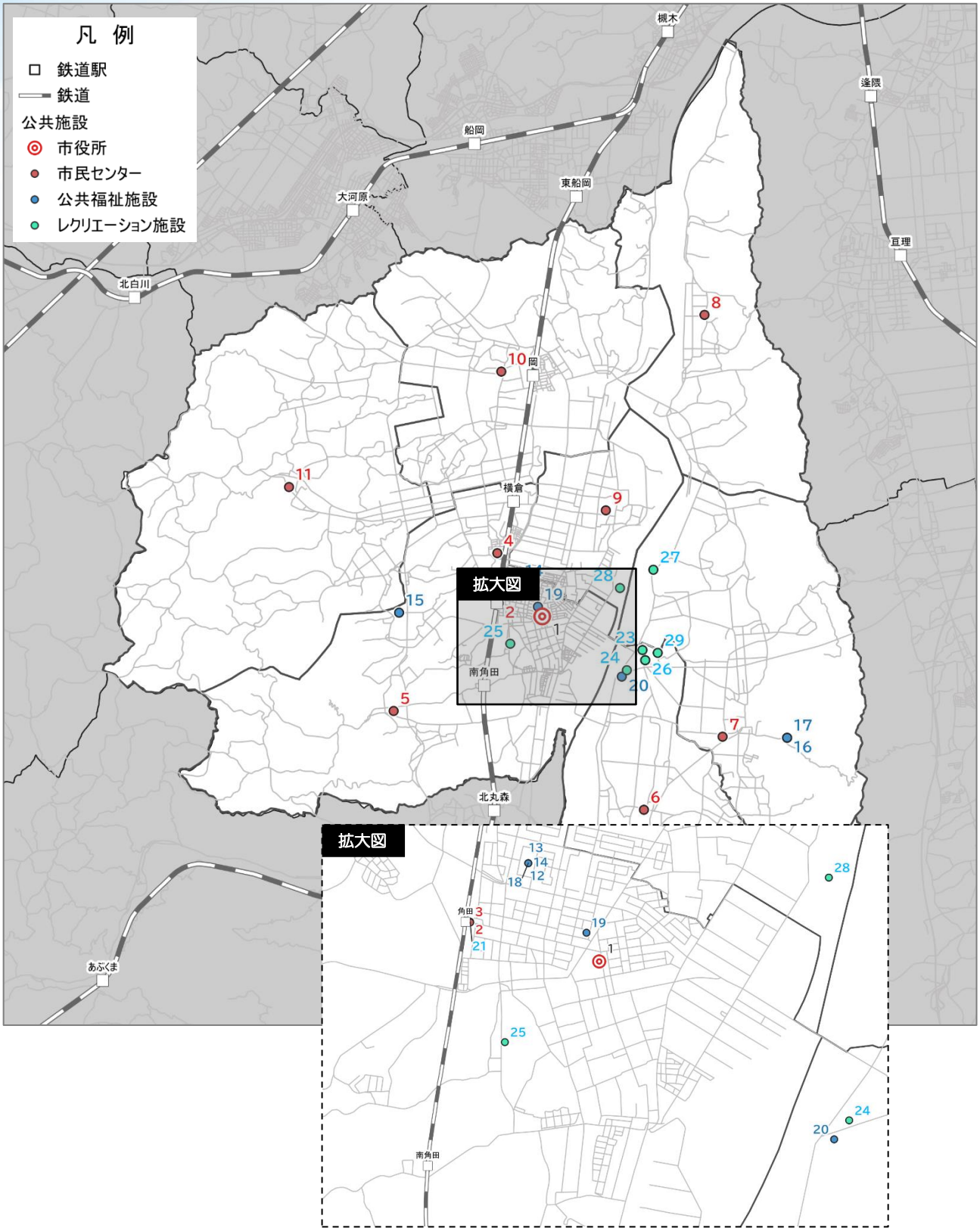


図　公共施設の立地状況

表　公共施設の立地状況

No.	区分	施設名称	所在地
1	市役所	角田市役所	角田市角田字大坊 41 番地
2	市民センター	角田市市民センター	角田市角田字牛舘 10
3		角田自治センター	角田市角田字泉町 146
4		横倉自治センター	角田市横倉字杉の堂 40
5		小田自治センター	角田市小田字福田 80
6		枝野自治センター	角田市島田字光畑 57-1
7		藤尾自治センター	角田市尾山字五反田 198
8		東根自治センター	角田市平貫字土浮 102
9		桜自治センター	角田市佐倉字町裏一番 155
10		北郷自治センター	角田市岡字阿弥陀入 65
11		西根自治センター	角田市高倉字本町 15-1
12	公共福祉施設	総合保健福祉センター	角田市角田字柳町 35-1
13		地域包括支援センター	角田市角田字柳町 35-1
14		障害者就労支援施設　のぎく	角田市角田字柳町 35-1
15		農村婦人の家	角田市豊室字沼頭 12-3
16		老人福祉センター内町荘	角田市尾山字山入 91-1
17		婦人研修センター	角田市尾山字山入 91-1
18		（社）角田市社会福祉協議会	角田市角田字柳町 35-1
19		角田市シルバー人材センター	角田市角田字錦町 23-9
20		角田衛生センター	角田市枝野字北大坊 90
21	レクリエーション施設	図書館	角田市角田字牛舘 10
22		総合体育館	角田市枝野字青木 155-31
23		陸上競技場	角田市枝野字青木 155-47
24		屋内温水プール	角田市枝野字青木 155-75
25		台山公園管理室	角田市角田字寺前 38
26		スポーツ交流館	角田市枝野字青木 155-31
27		市民ゴルフ場	角田市藤田字北谷地 150-2
28		あぶくまパークゴルフ場	角田市梶賀字居揚地内
29		中央公園テニスコート	角田市枝野字青木 155-15

出典：角田市 HP

② 医療施設の立地状況

医療施設については、いずれも角田字または隣接する佐倉字・梶賀字に位置する。

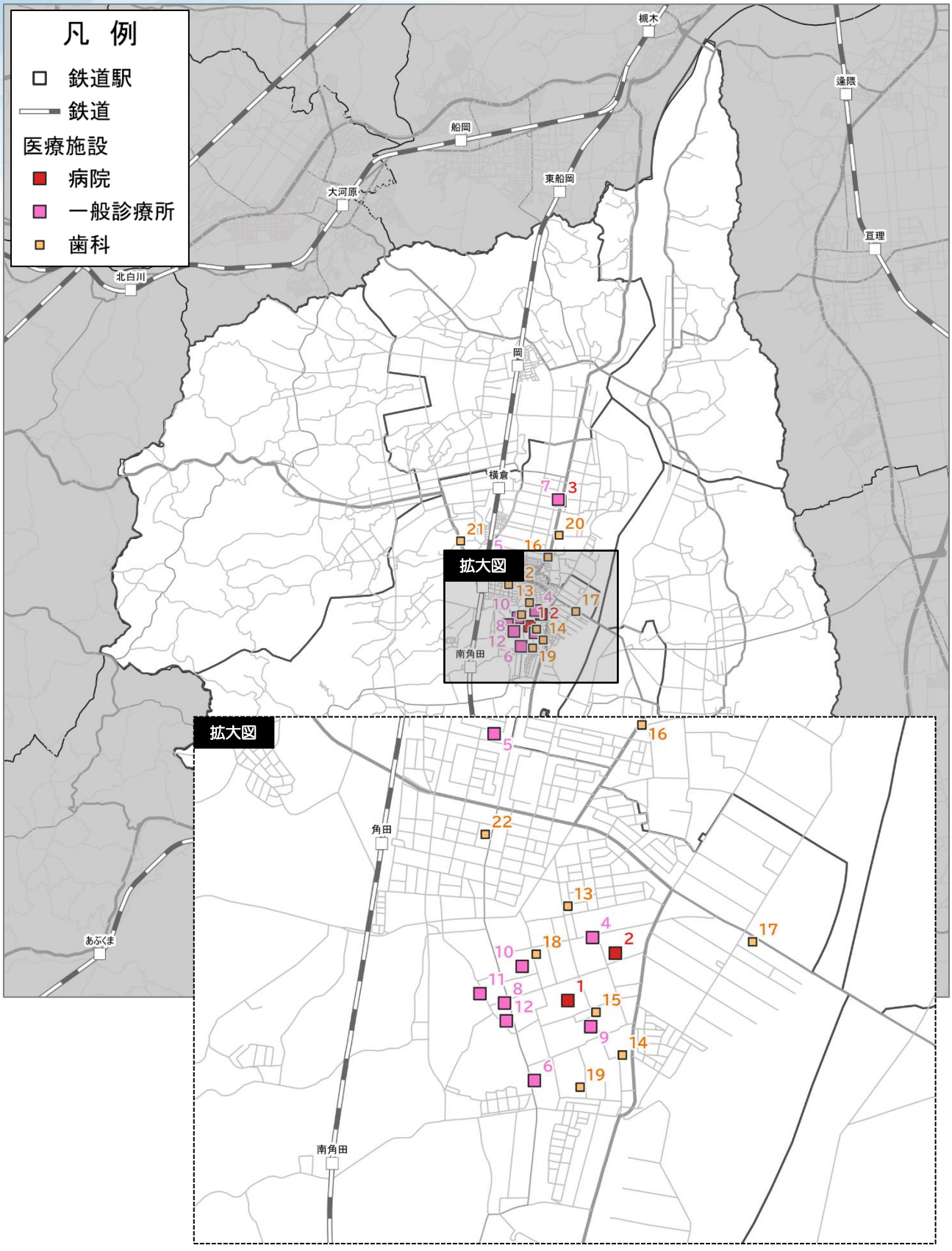


図　医療施設の立地状況

表　医療施設の立地状況

No.	区分	施設名称	所在地
1	病院	医療法人　本多友愛会　仙南病院	角田市角田字牛舘 16
2		医療法人　金上仁友会　金上病院	角田市角田字田町 123
3		医療法人　安達同済会　同済病院	角田市佐倉字上土浮 2
4	一般診療所	医療法人社団　大槻明徳会 大槻眼科医院	角田市角田字田町 90
5		医療法人社団　井上恩和会 角田ふれあいクリニック	角田市角田字豊町 1-3
6		医療法人　名取会　名取医院	角田市角田字南 61-1
7		社会福祉法人　宮城緑風会 緑風会診療所	角田市佐倉字上土浮 2-2
8		まつもと整形外科 リハビリテーションクリニック	角田市角田字町 192
9		高山内科胃腸科医院	角田市角田字町 243
10		医療法人社団　小川整形外科クリニック	角田市角田字田町 68
11		医療法人社団　阿部内科医院	角田市角田字牛舘 89-3
12		油井眼科医院	角田市角田字牛舘 58
13	歯科	せきね歯科クリニック	角田市角田字大町 1-10
14		氏家歯科医院	角田市角田字南 118
15		吉田歯科医院	角田市角田字町 25
16		太田歯科医院	角田市梶賀字西 128-2
17		さいとう歯科医院	角田市角田字中島下 419-1
18		竹内歯科医院	角田市角田字田町 73-3
19		大久保歯科医院	角田市角田字南 78
20		宍戸歯科医院	角田市梶賀字西 32-1
21		伊藤歯科クリニック	角田市横倉字今谷 290-1
22		かまた歯科医院	角田市角田字幸町 73

出典：地域情報医療システム

③ 商業施設の立地状況

全ての大型小売店が角田字内に立地する。

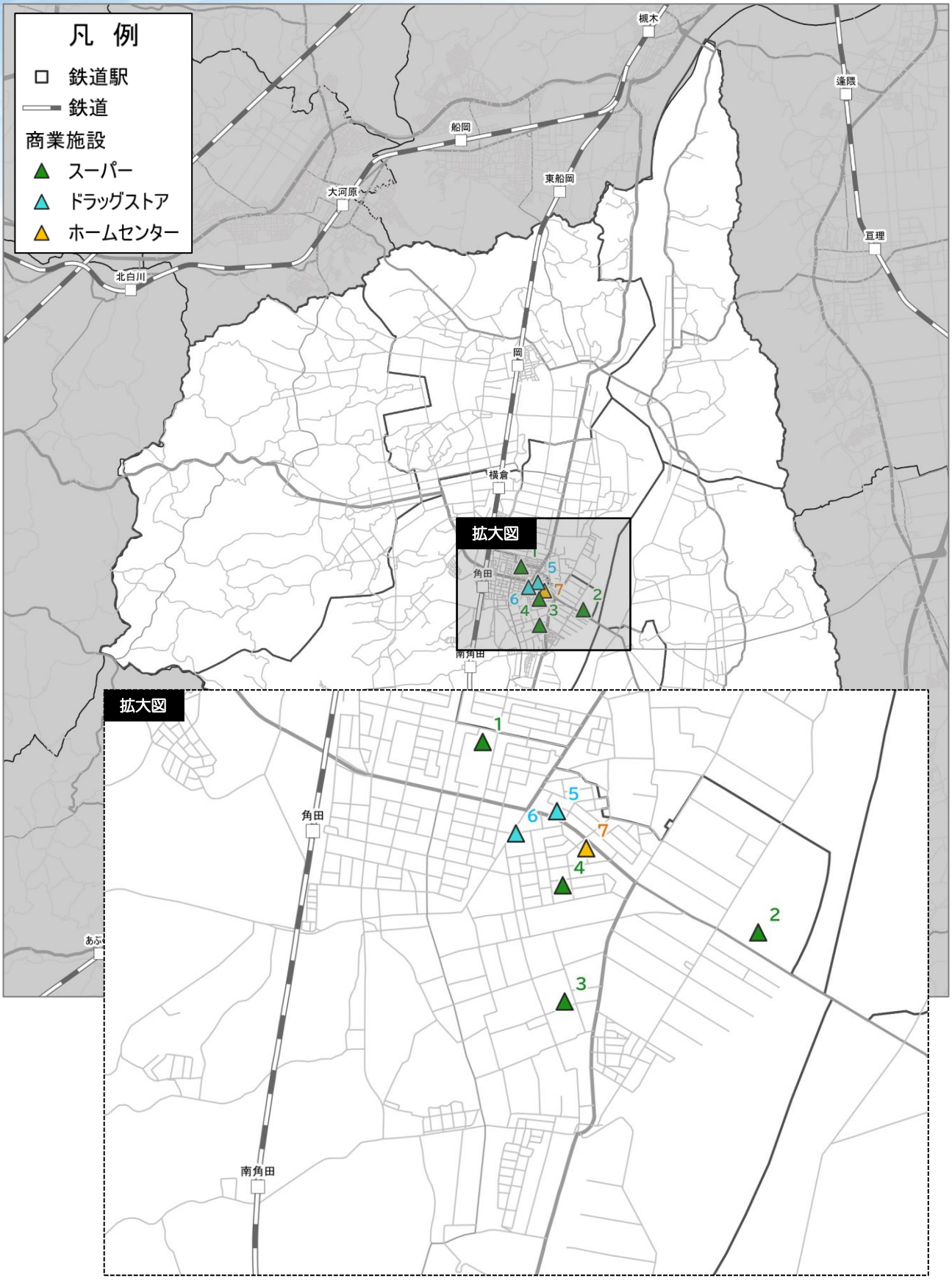


図　商業施設の立地状況

表　商業施設の立地状況

No.	区分	施設名称	所在地
1	スーパー	ヨークベニマル角田店	角田市角田字町尻 428
2		ヤマザワ角田店	角田市角田字中島下 563-1
3		A&COOP 角田店	角田市角田字田町 100-1
4		フレスコキクチ角田店	角田市角田字大町 35-7
5	ドラッグストア	薬王堂角田店	角田市角田字緑町 2-4
6		ドラックストアモリ	角田市角田字 13-1
7	ホームセンター	DCM ホーマック角田店	角田市角田字扇町 8-1

出典：全国大型小売店総覧 2023

④ 教育・子育て施設の立地状況

小学校および中学校においては 2021 年より統廃合が進み、2021 年に 7 校あった小学校は 5 校となり、3 校あった中学校は 2 校となった。

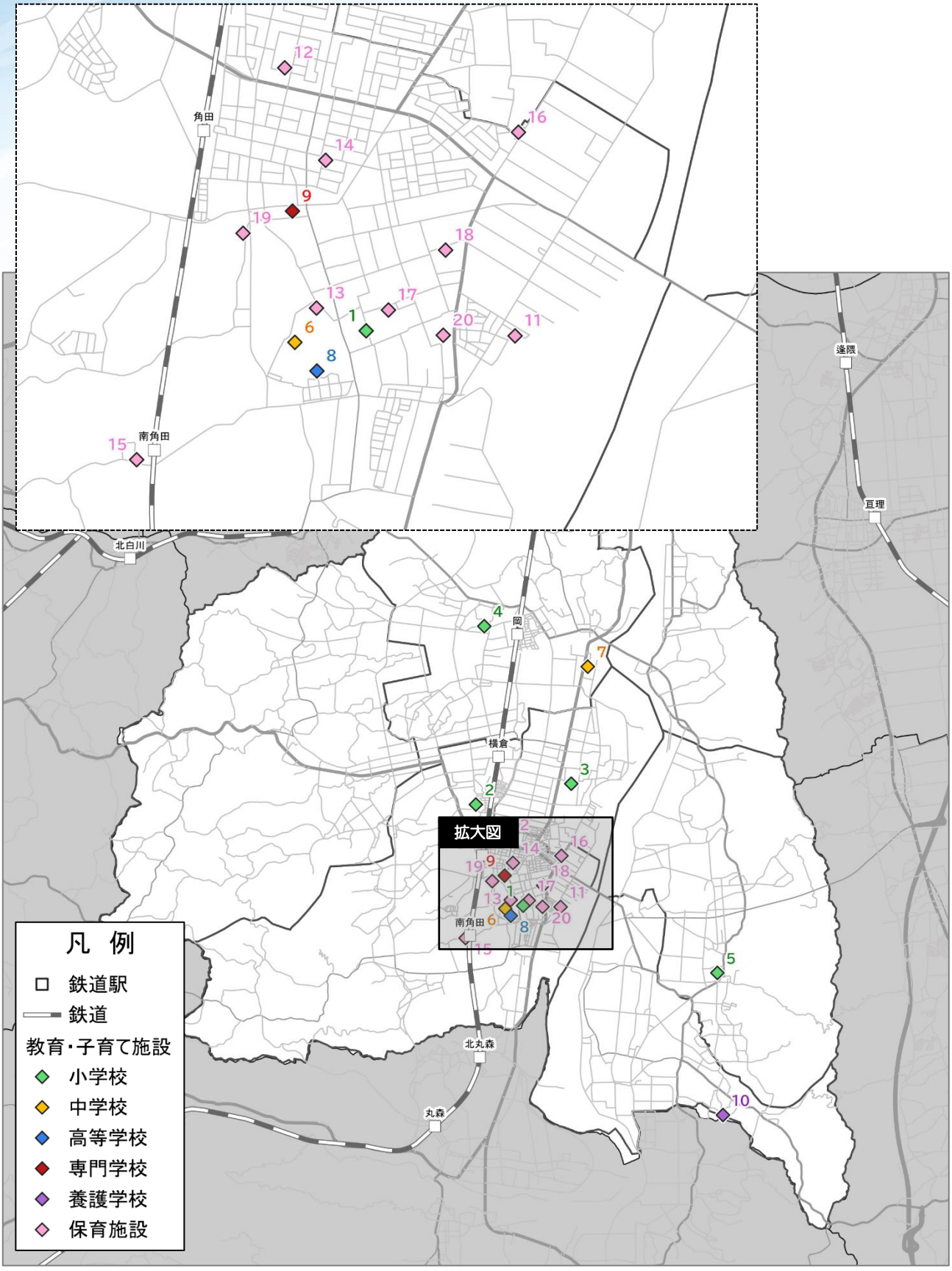


図　教育・子育て施設の立地状況

表　教育・子育て施設の立地状況

No.	区分	施設名称	所在地
1	小学校	角田小学校	角田市角田字牛舘 41
2		横倉小学校	角田市横倉字杉の堂 7
3		桜小学校	角田市佐倉字小山 78-1
4		北郷小学校	角田市岡字阿弥陀入 11-2
5		金津小学校	角田市尾山字荒町 125-1
6	中学校	角田中学校	角田市角田字牛舘 1-2
7		北角田中学校	角田市江尻字前原 50
8	高等学校	角田高校	角田市角田字牛舘１番地
9	専門学校	角田明和女学院	角田市角田字寺前１５２-１
10	養護学校	角田支援学校	角田市島田字御蔵林 24-1
11	保育施設	中島保育所	角田市角田字中島上 57-4
12		角田光の子保育園	角田市角田字柳町 35-3
13		なかよしこどもえん	角田市角田字牛舘 59-1
14		キッズフィールド角田旭町園	角田市角田字旭町 30-1
15		角田なかよし保育園	角田市小田字大原 2-7
16		さくら保育園	角田市梶賀字東南 61-1
17		あすなろの木保育園	角田市角田字牛舘 19-3
18		医療法人金上仁友会ニコニコ保育園	角田市角田字田町 117-4
19		ミネ幼稚園	角田市角田字長泉寺 69-2
20		角田カトリック幼稚園	角田市角田字町 1

出典：角田市 HP、宮城県 HP

⑤ 観光施設

13 箇所ある観光施設のうち、角田字内の施設は 4 箇所、高倉字は 2 箇所である。残りの 7 施設についても全て異なる字に位置しており、市内に分散して立地している。

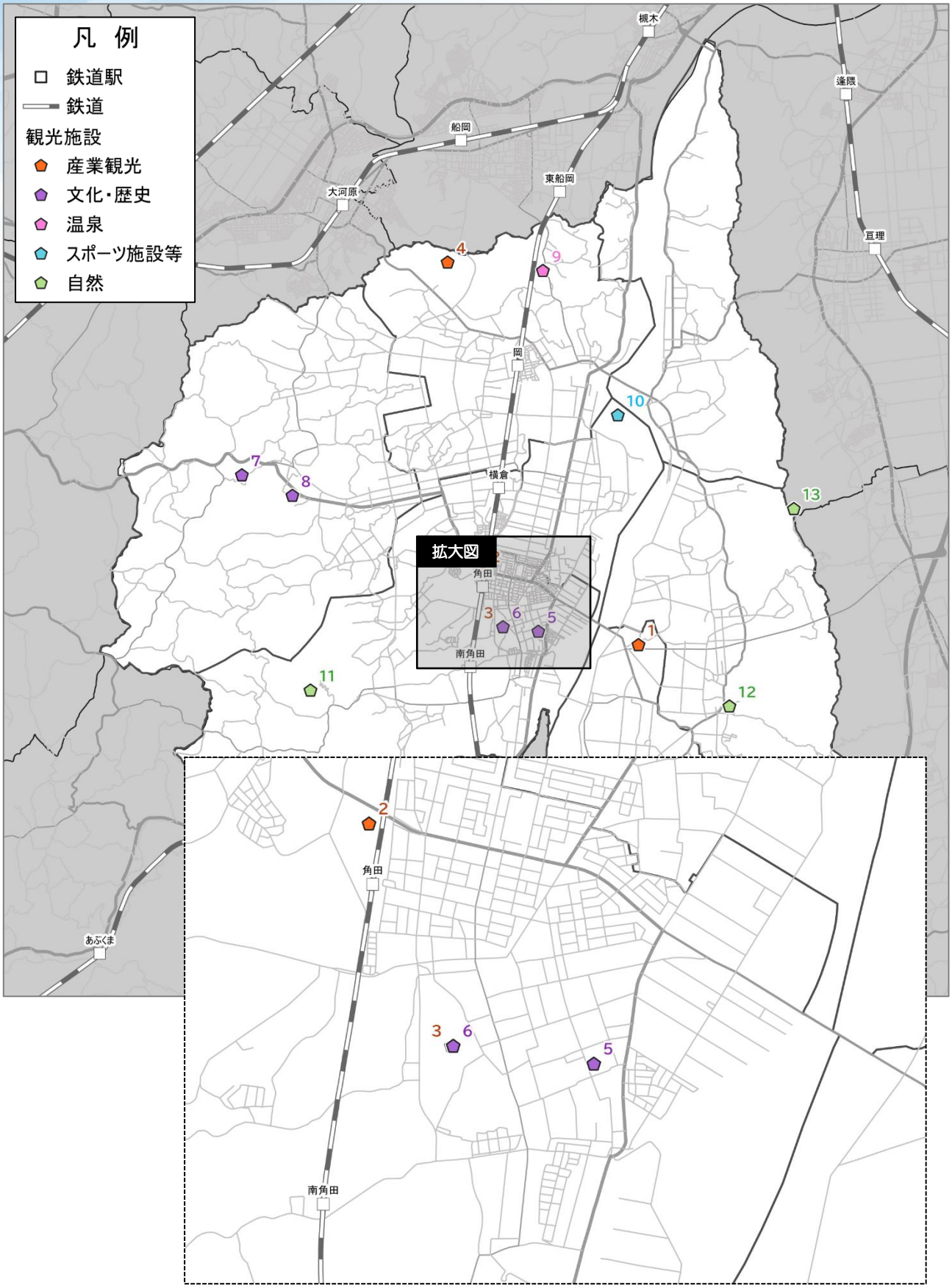


図　観光施設の立地状況

表　観光施設の立地状況

No.	区分	施設名称	所在地
1	産業観光	道の駅　かくだ	角田市枝野字北島 81-1
2		仙南シンケンファクトリー	角田市角田字流 197-4
3		角田市スペースタワー・ コスモハウス	角田市角田字牛舘 100
4		JAXA　角田宇宙センター	角田市君萱字小金沢 1
5	文化・歴史	角田市郷土資料館	角田市角田字町 17
6		江尻排水ポンプ展示館	角田市角田字田袋 73-1
7		勝楽山　高蔵寺（こうぞうじ）	角田市高倉字寺前 49
8		西根田んぼアート	角田市高倉字内田
9	温泉	天然温泉もみの木	角田市神次郎字石道 44-1
10	スポーツ 施設等	角田滑空場	角田市佐倉 字川原 地先阿武隈川左岸
11	自然	斗蔵山（とくらさん）	角田市小田字斗蔵 95
12		内町湖（うちまちこ）	角田市尾山上大門
13		四方山（しほうざん）	亘理郡亘理町吉田

出典：角田市 HP

2-1-7 まちづくりの動向

1） 公共施設

●公共施設３箇所の大規模改修

・施設の老朽化が見られる３施設（総合保険福祉センター、障がい者就労支援施設のぎく、角田中央公園内温水プール）について、大規模な改修工事を計画している。
・総合保険福祉センター・障がい者就労支援施設については、令和７年度中の工事を予定しており、温水プールは令和９年度から２ヵ年での工事を予定する。

●老人福祉センター内町荘の移転

・施設の老朽化に伴い、施設の機能・役割を整理した上での移転を検討している。
・移転先は、スポーツ交流館などへの移転集約を検討しており、併せて市民センターなど代替施設の利用促進を図ることとしている。

2） 教育施設

●角田中学校と北角田中学校の再編・統合

・市学校適正規模検討委員会を設置し、令和６年度までに６回の協議を実施している。
・生徒数の減少や校舎の老朽化などの理由から、市内の「角田中学校」と「北角田中学校」の再編・統合を令和 10 年度以降に予定しており、再編に伴うスクールバスの運行時間・距離の増加が懸念される。

●角田小学校をはじめとした小学校４校の再編・統合

・同検討委員会にて「角田小学校と横倉小学校の統合」及び「桜小学校と北郷小学校の統合」をそれぞれ令和 10 年度以降に予定している。
・中学校と同様、再編に伴うスクールバスの運行時間・距離の増加が懸念される。

3） 商業施設

●マルホンカウボーイ角田店の閉店（令和７年２月）

・市内の梶賀地区に唯一立地していたスーパー「マルホンカウボーイ角田店」を展開する「本間物産」が「クスリのアオキ」へ事業譲渡したことなどが影響し、令和７年２月 24 日をもって、同店が閉店した。
・2-1-6 に示すとおり、市内のスーパーは角田地区内にのみ立地するようになったことから、今後は当該スーパーを利用していた方も角田地区へ移動する必要がある。

2-2 公共交通の実態等の整理

2-2-1 公共交通の運行状況等の整理

仕様書の記載
本市における公共交通を対象として事業者等から提供される資料・データ等を活用し、市内における公共交通の運行状況（経路、本数等）や財政状況等（財政負担等含む）を整理する。

1） 市内における公共交通の運行状況の整理

① 公共交通の運行概要

市内の公共交通は、鉄道が１路線、デマンド型乗合タクシーラビットくんが５路線（特別運行を含む）運行するほか、市内循環バスが臨時的に試験運行されている。

デマンド型乗合タクシーラビットくんは、角田市中心部と市内各エリアを結ぶ「地域⇔まちなか」便と特定の拠点間を結ぶ特別運行便の２種類に大別される。

表　市内の公共交通一覧

No.	区分	名称	利用区分	運行主体
1	鉄道	阿武隈急行線	一般	阿武隈急行株式会社
2	デマンド型乗合タクシーラビットくん	北東エリア-まちなか	利用登録者	角田市 まちづくり推進課
3		南東エリア-まちなか		
4		北西エリア-まちなか		
5		南西エリア-まちなか		
6		特別運行		
7	スクールバス	角田小学校スクールバス	小学生	角田市教育委員会
8		桜小学校スクールバス		
9		北郷小学校スクールバス		
10		金津小学校スクールバス		
11		角田中学校スクールバス	中学生	
12		北角田中学校スクールバス		
13	市内循環バス	角田市 無料バス運行	一般	角田市 まちづくり推進課

出典：阿武隈急行株式会社 HP、市提供資料

② 阿武隈急行線

阿武隈急行線は、福島県福島市の福島駅と宮城県柴田郡柴田町の槻木駅を結ぶ第三セクターである。角田市内には４駅設置されており、一日に 22 本の列車が通る。

槻木駅からは東北本線に乗り換えることができ、通常は仙台まで１回の乗り換えにより 45 分～１時間程度でアクセスできる。この際の運賃は現金で 750 円～880 円かかる。

なお東北本線直通の列車が１日に２本運行され、乗り換えせず仙台駅にアクセスできる。

表　阿武隈急行線の運行状況

No.	路線名	運行経路	運行本数						運行時間帯	運賃	運行主体
			平日		土曜		日曜・祝				
			上り	下り	上り	下り	上り	下り			
1	阿武隈急行線	(槻木～)岡、横倉、角田、南角田、(～福島)	22	22	22	22	22	22	5:20～23:20	180 円～980 円	阿武隈急行株式会社

出典：阿武隈急行株式会社 HP

③ デマンド型乗合タクシー「ラビットくん」

ラビットくんは平日のみ運行しており、登録者を利用対象者として電話での予約に応じたサービス提供を行っている。なお、地域⇔まちなか便についてはそれぞれ１日８往復運行されている。また、特別運行拠点については計 81 箇所が設定されている。

表　ラビットくんの運行状況

No.	路線名	運行エリア（地区）	運行本数		運行時間帯	運賃	運行主体
			上り	下り			
1	北東エリア-まちなか	桜、東根、角田	8	8	7:30～16:00	400 円	角田市まちづくり推進課
2	南東エリア-まちなか	小田、西根、角田			7:30～16:00	400 円	
3	北西エリア-まちなか	横倉、北郷、角田			7:30～16:00	400 円	
4	南西エリア-まちなか	藤尾、枝野、角田			7:30～16:00	400 円	
5	特別運行	特別運行拠点間			7:30～16:00	200 円	

出典：市提供資料

表　特別運行拠点一覧（1/2）

No.	施設区分	施設名称	所在地
1	公共施設	角田市役所	角田市角田字大坊 41 番地
2		総合福祉センター(ウエルパーク)	角田市角田字柳町 35-1
3		市民センター	角田市角田字牛舘 10
4		かくだ田園ホール	角田市角田字牛舘 10
5		図書館	角田市角田字牛舘 10
6		郷土資料館	角田市角田字町 17
7		道の駅かくだ	角田市枝野字北島 81-1
8		台山公園	角田市角田字田袋 73-1
9		テニスコート	角田市角田字寺前 29
10		ゲートボール場	角田市角田字寺前 29
11		グラウンド	角田市角田字寺前 49
12		野外ステージ	角田市角田字寺前 38
13		江尻排水ポンプ展示場	角田市角田字田袋 73-1
14		スペースタワー・コスモハウス	角田市角田字牛舘 100
15		角田中央公園(総合体育館)	角田市枝野字青木 155-31
16		総合体育館	角田市枝野字青木 155-31
17		陸上競技場	角田市枝野字青木 155-47
18		中央公園テニスコート	角田市枝野字青木 155-15
19		市民ゲートボール場	角田市枝野字青木 155-15
20		交通公園	角田市枝野字青木 155-31
21		多目的運動場・多目的芝生広場	角田市枝野字青木 155-31
22		野球場	角田市枝野字青木 103-4
23		屋内温水プール	角田市枝野字青木 155-75
24		角田市スポーツ交流館	角田市枝野字青木 155-31
25		市民ゴルフ場	角田市藤田字北谷地 150-2
26	公共交通機関	角田駅	角田市角田泉町 146
27	金融機関	角田郵便局	角田市角田字町 202
28		七十七銀行角田支店	角田市角田字町 74
29		仙台銀行角田支店	角田市角田字町 70-2
30		仙南信用金庫角田支店	角田市角田字町 109
31		みやぎ仙南農業協同組合角田支店	角田市角田字町 29
32	その他関係機関	角田警察署	角田市角田字扇町 5-7
33		角田市商工会	角田市角田字大坊 34-2
34	ラビットハウス	中華料理かんの	角田市角田字町 228
35		マルセン	角田市角田字町 82
36		すずき生花店	角田市角田字田町 59
37		中川時計店	角田市角田字町 286
38		セブン-イレブン角田西田町店	角田市角田字田町 43
39		ローソン角田中央店	角田市角田字町 195

出典：市提供資料

表　特別運行拠点一覧（2/2）

No.	施設区分	施設名称	所在地
40	病院等医療機関	同済病院	角田市佐倉字上土浮２
41		金上病院	角田市角田字田町 123
42		仙南病院	角田市角田字牛舘 16
43		阿部内科医院	角田市角田字牛舘 89-3
44		大槻眼科医院	角田市角田字田町 90
45		小川整形外科医院	角田市角田字田町 68
46		角田ふれあいクリニック	角田市角田字豊町 1-3
47		高山内科胃腸科医院	角田市角田字町 243
48		名取医院	角田市角田字南 61-1
49		油井眼科医院	角田市角田字牛舘 58
50		なのはなクリニック	角田市角田字扇町 10-1
51		いこいの整骨院	角田市角田字牛舘 31
52		牛木整骨院	角田市角田字町 179-3
53		おおとも接骨院	角田市梶賀一里壇 146-11
54		めぐろ鍼灸整骨院	角田市角田柳町 36-1
55		かくだ耳鼻咽喉科クリニック	角田市角田字町 192
56		伊藤歯科クリニック	角田市横倉字今谷 290-1
57		氏家歯科医院	角田市角田字南 118
58		大久保歯科医院	角田市角田字南 78
59		太田歯科医院	角田市梶賀字西 128-2
60		かまた歯科医院	角田市角田字幸町 73
61	歯科医療機関	黒須歯科医院	角田市角田字田町１３７-１
62		さいとう歯科医院	角田市角田字中島下 419-1
63		央戸歯科医院	角田市梶賀字西 32-1
64		竹内歯科医院	角田市角田字田町 73-3
65		せきね歯科クリニック	角田市角田字大町 1-10
66		吉田歯科医院	角田市角田字町 25
67	調剤薬局等	あるふあ薬局仙南病院前店	角田市角田字牛舘 20
68		いずみ薬局	角田市角田字大町 41-7
69		北町薬局	角田市角田字牛舘 64
70		南町薬局	角田市角田字南 60-5
71		くるみ薬局	角田市角田字田町 123-6
72		コスモ薬局	角田市角田字町 246
73		さくら薬局	角田市佐倉字畑田南 2-6
74		中央薬局	角田市角田字扇町 11-14
75		西村薬局	角田市角田字町 220
76		細川薬局	角田市角田字町 22
77		毛利薬局	角田市角田字牛舘 15-1
78		そうごう薬局角田店	角田市角田字町 194-1
79		マリーン調剤薬局	角田市角田字田町 128-2
80		ツルハドラッグ角田中央店	角田市角田字町 222-2
81	乗継所	商営駐車場	角田市角田字町 223

出典：市提供資料

④ 市内循環バス

市内循環バスは市が試験走行を令和５年度および令和６年度において実施した公共交通サービスである。令和６年度においては阿武隈急行株式会社からフリー切符が販売される日と市内でのイベントが開催される計９日間を対象として無料にて走行された。

表　市内循環バスの運行状況

No.	路線名	運行経路	運行本数 運行日		運行 時間帯	運賃	運行 事業者
1	市内循環 バス	角田駅、台山公園、 郷土資料館、 道の駅かくだ	4	-	10:15 ～ 15:05	無料	角田市 まちづくり 推進課

出典：市提供資料

表　令和６年における市内循環バスの運行対象日

運行日
6/16(日)・7/7(日) 8/4(日)・9/8(日) 10/6(日)・10/14(月・祝) 10/27(日)・11/3(日) 11/17(日)

出典：市提供資料

⑤ スクールバス

スクールバスは小学生および中学生を対象とした申請制の公共交通サービスである。

学校毎に路線が設定されており、利用者は年度毎に申請書を学校長経由で教育長へ提出し、承認されると学校長経由で利用者登録証を受け取り、本サービスを利用することが出来るようになる。

表　スクールバスの運行状況

No.	通学先	方面	路線	登録者数
1	角田小学校	小田方面	（コース名なし）	22 人
2	桜小学校	坂津田・鳩原方面	坂津田・鳩原コース	19 人
		西小坂方面	西小坂コース	
3	北郷小学校	毛萱・稲置方面	A コース	28 人
		笠島方面	B コース	
4	金津小学校	藤田南部方面	A コース・B コース	64 人
		枝野東部方面	C コース	
		枝野西部方面	D コース	
5	角田中学校	藤田北部方面	A コース	78 人
		藤田南部方面	B コース	
		尾山方面	C コース	
		枝野方面	D コース	
6	北角田中学校	毛萱方面	A コース	25 人
		高倉・笠島方面	B コース	

出典：市提供資料

2） 市内におけるタクシーの整理

① タクシー事業者の概要

一般タクシーは本市内に２社、介護タクシーは５社立地する。

表：市内にあるタクシー事業者の概要

No.	区分	会社名	所在地	車両		
				ジャンボ	大型	普通
1	一般	伊具タクシー(有)	角田市角田字町 254	３台	１台	４台
2		(有)草間タクシー	角田市角田字町 271	３台	０台	７台
3	介護	こまの介護タクシー	角田市枝野字横堀 61	不明		
4		うるとら介護タクシー	角田市毛萱富田 120			
5		渡辺介護タクシー	角田市角田裏町 122			
6		介護タクシーひまわり	角田市角田鱸沼 57-30			
7		介護タクシーみほ	角田市角田裏林 33-84			

② みやぎ県南中核病院通院等タクシー利用助成事業の概要

本市では令和４年５月より、市の住民を対象に自宅からみやぎ県南中核病院までのタクシー利用料金に対して、半額を助成する事業を実施している。なお事前の利用登録が必要であるほか、助成額の上限は 3,000 円となっている。

また、令和３年度は登録不要の形態で同様の実証事業（みやぎ県南中核病院通院等アクセス実証事業）を実施していた。

3） 市内における公共交通以外の移動サービス

角田市内を運行する公共交通以外の移動サービスについて、以下のとおり整理した。

表　市内を運行する公共交通以外の移動サービス

No.	区分	事業主体の施設	所在地	サービス概要
1	介護	ニチイケアセンター角田	角田市角田字扇町 11-5	自宅と施設間の送迎について、車椅子での乗車も可能なバリアフリー車両で送迎を実施。 対象地域は、角田市全域・丸森町の一部、山元町の一部。
2		あぶくまデイサービスセンターはなはな	角田市角田字豊町 7-1	自宅と施設間の送迎を実施しており、対象地域は角田市・丸森町・柴田町・大河原町の一部地区を対象として運行。 サービス提供時間は、最も早い時刻で 9:30 から送迎を開始し、帰宅便の発時刻は 16:30 の時間内で送迎を行う。
3		らぽーる・はなはな	角田市角田字柳町 41-13	自宅と施設間の送迎を実施しており、対象地域は角田市・丸森町・柴田町・大河原町の一部地区を対象として運行。 サービス提供時間は、最も早い時刻で 8:10 から送迎を開始し、帰宅便の発時刻は 16:30 の時間内で送迎を行う。
4		おやまデイサービスセンター	角田市尾山字荒町 65-1	デイサービス利用者に対して自宅からの送迎を実施。対象は角田市・丸森町・大河原町・柴田町・山元町・亘理町。
5		デイサービスひかり苑	角田市枝野字畑中 143-3	デイサービス利用者に対して自宅からの送迎を実施。対象は角田市・丸森町。
6		グループホーム花水木	角田市角田字田町 123-6	デイサービス利用者に対して自宅からの送迎を実施。対象は角田市内。
7		デイサービス日なた	角田市角田字裏町 6-9	デイサービス利用者に対して自宅からの送迎を実施。対象は角田市内。
8	薬局	マリーン調剤薬局角田店	角田市角田字田町 128-2	**＜在宅患者訪問薬剤管理指導＞** 通院が難しく、自宅で療養を行っている患者に対して医師が訪問診察をした後、薬剤師が訪問して薬歴管理・服薬指導・薬剤保管状況の確認を行う。
9		あるふぁ薬局仙南病院前店	角田市角田牛舘 21-2	**＜薬剤師訪問サービス＞** 要介護・要支援の必要な方に対し、医師が発行する処方箋に基づいて調剤し、自宅を訪問して薬剤の保管、管理や使用について説明。
10	公共事業	角田市介護支援課いきいき長寿係	角田市角田字柳町 35-1	**＜生きがい健康クラブ（生きがいデイサービス事業）＞** 角田市総合保険福祉センター「ウエルパークかくだ」にて、脳トレや趣味活動をしながら健康づくりをすることを目的に、生きがい健康クラブを実施しており、参加者は無料の送迎サービスが利用できる。
11				**＜配食サービス事業＞** 65 歳以上の一人暮らし世帯を対象に、平日の希望する曜日に夕食を配達するとともに安否確認を実施。 利用料は 1 食 450 円。
12	福祉	社会福祉法人角田市社会福祉協議会	角田市角田字柳町 35-1	**＜福祉自動車送迎サービス事業＞** 身体障害者手帳や介護保険制度の要介護認定を取得されている方、あるいは歩行が難しく車いす等を利用している方で、公共交通機関等の利用が困難な方を対象に通院や公共施設の利用の際に福祉自動車（リフト付きワゴン車）を運行する。 運行範囲は角田市を発着とする県南 4 市 9 町（角田市・白石市・名取市・岩沼市・七ヶ宿町・蔵王町・大河原町・柴田町・村田町・川崎町・丸森町・亘理町・山元町）を運行する。 運営協力費として、個人利用は年 5,000 円、障がい者団体等利用は年 6,000 円を納める必要がある（非保護世帯の運営協力費は免除）。
13	温泉	天然温泉もみの木	角田市神次郎字石道 44-1	**＜宴会等無料送迎バス＞** 宴会の予約時に 10 名以上で無料送迎バスを利用できる（10 名未満でも 1 運行あたり 2,000 円を支払えば送迎利用可能）。 送迎範囲は施設から約 20km の範囲内としており、角田市・大河原町・柴田町・岩沼市・村田町・亘理町・白石市から利用できる（丸森町は要相談）。

4） 市内における公共交通の財政状況等（財政負担含む）

① 阿武隈急行線

(A) 経常損益

阿武隈急行株式会社の鉄道事業における経常損益は令和２年まで 1.5 億円を下回る損失だったが、令和３年以降４億円を上回る損失となった。損失の背景としては、令和２年以降における経費の増加と営業収益の減少による営業損失の増大が挙げられる。

なお既に営業損失が増大していた令和２年において経常損失が低かった理由としては、前年比で 30 倍超となる約 4.4 億円の営業外収益を計上したためである。

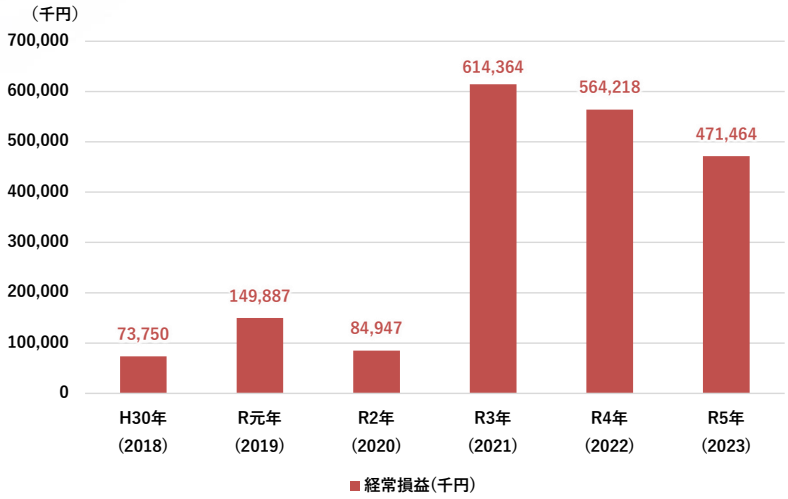


図　阿武隈急行線における経常損益推移

出典：阿武隈急行株式会社 HP

(B) 市全体負担額および１住民あたりの負担額

本市の財政負担については、令和元年まで 0.5 億円を下回っていたが、令和２年以降は１億円を上回っている。それに伴い１住民あたりの財政負担額も令和元年までと比べ、それ以降の年度では約３倍から７倍の額となっている。

なお最高値となった令和４年については、当年の３月 16 日に発生した震災復旧に伴う阿武隈急行線災害復旧事業の支出が前年比で 10 倍の約 0.8 億円発生している。

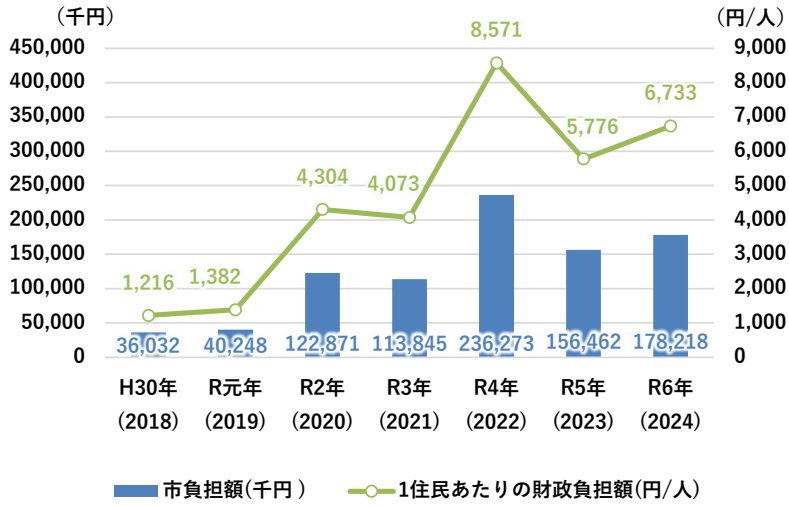


図　阿武隈急行線における市の財政負担推移

出典：市負担額/市提供資料、市人口/角田市 HP

5） スクールバス

スクールバス運行による市の財政負担は令和５年度時点で 99,364 千円となっており、利用者ベースでの負担額が一人当たり 421,034 円、住民ベースでの負担額が一人当たり 3,552 円となっている。

表　スクールバスにおける市の財政負担

令和５年度 市の決算額 （千円）	１利用者あたりの 財政負担額 （円/人）	１住民あたりの 財政負担 （円/人）
99,364	421,034	3,552

出典：角田市 HP

仕様書の記載
市から提供を受ける利用実績等を踏まえて、公共交通の利用状況等を整理する。

1） 市内における阿武隈急行線の利用状況

① 全体

利用客の８割以上が角田駅の利用客である。また南角田駅について、令和３年度以前は利用者数が７千人を下回っているのに対して、令和３年度からは毎年１万人を上回る利用が記録されている。

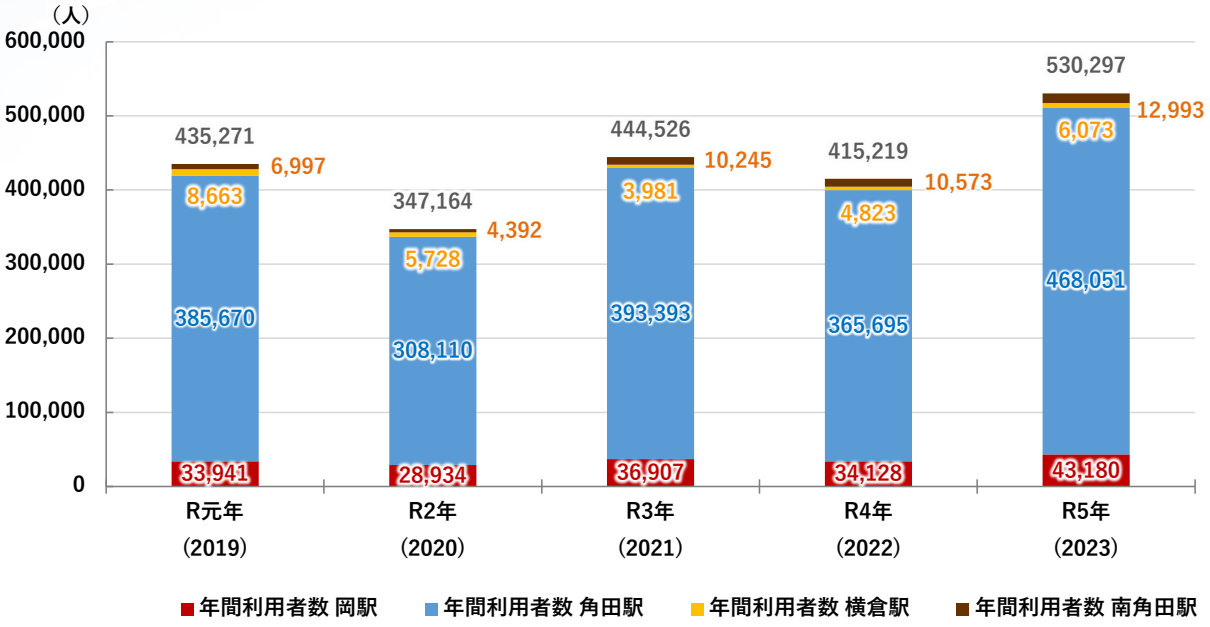


図　角田市内の駅における利用者数の推移

出典：阿武隈急行株式会社 HP

② 岡駅

岡駅の利用者数は、令和５年度が 43,180 人と最も多かった。また変化幅が最も少なかった令和３年から令和４年を除き、全ての年度で５千人以上の変化幅がある。

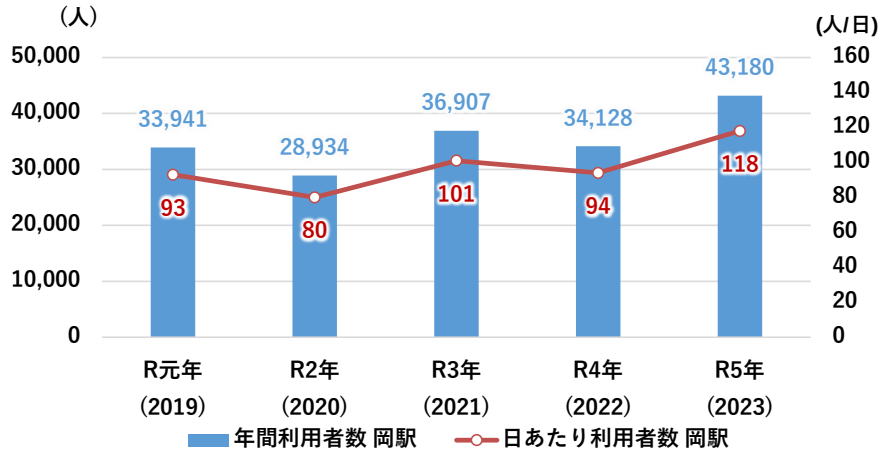


図　岡駅における利用者数の推移

出典：阿武隈急行株式会社 HP

③ 横倉駅

横倉駅の利用者数は、全ての年度で１万人を下回っている。また令和３年を境にして利用者数が増加しているものの、令和５年度の利用者数は５年間で最多となった令和元年の７割程度に留まっている。なお、他の市内にある駅については５年の推移の中で令和５年の利用者数が最多となっている。

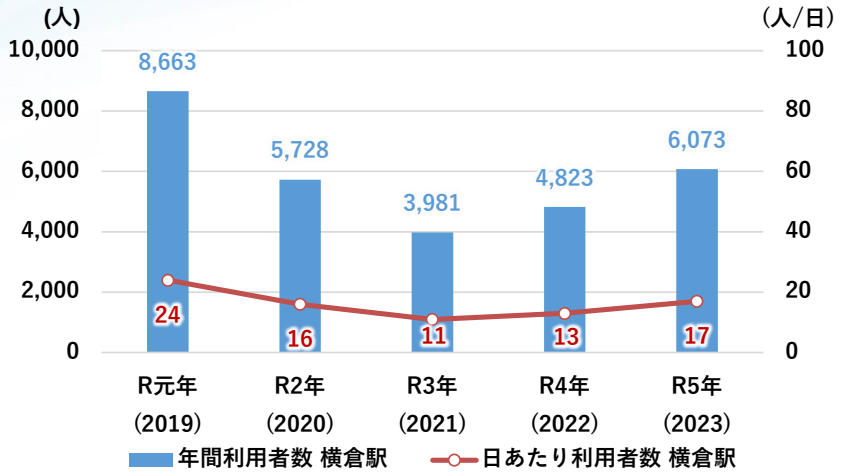


図　横倉駅における利用者数の推移

出典：阿武隈急行株式会社 HP

④ 角田駅

角田駅における利用者数は、全ての年度で 30 万人を上回っている。また令和２年を除きすべての年度で一日当たりの利用者数が１千人を超えている。

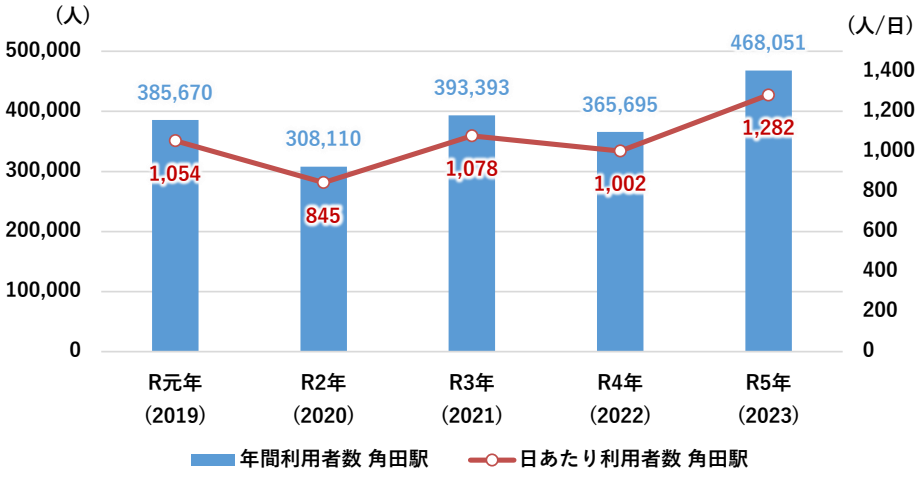


図　角田駅における利用者数の推移

出典：阿武隈急行株式会社 HP

⑤ 南角田駅

南角田駅の利用者数は、令和３年以降すべての年で１万人を超過かつ増加傾向にある。特に令和５年の利用者数については令和元年の 1.8 倍となっている。

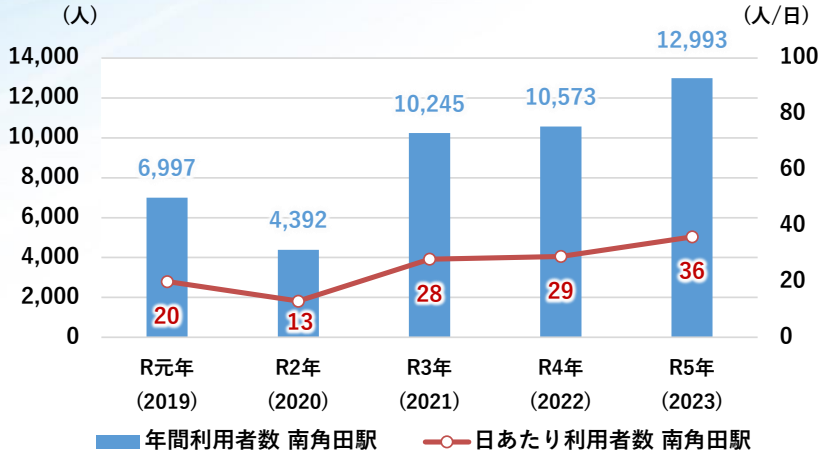


図　南角田駅における利用者数の推移

出典：阿武隈急行株式会社 HP

2） デマンド型乗合タクシー「ラビットくん」の利用状況

① 字毎の乗降人数

字別の乗降人数は、まちなかエリアを含む角田を除くと梶賀が最も多い。また角田を除いた市全体の乗降人数のうち、約半数を梶賀と高倉が占めている。

表　令和５年におけるラビットくんの字別乗降人数

字名	乗降人数	乗車人数	降車人数
総計	**35,107**	**17,555**	**17,552**
角田	19,407	8,943	10,464
梶賀	6,496	5,740	756
高倉	1,858	519	1,339
藤田	1,656	485	1,171
岡	1,560	327	1,233
佐倉	1,233	360	873
横倉	896	286	610
枝野	661	178	483
島田	484	18	466
尾山	207	108	99
小田	148	113	35
豊室	106	106	0
平貫	104	103	1
坂津田	64	62	2
花島	60	60	0
神次郎	55	45	10
江尻	53	53	0
毛萱	44	34	10
君萱	8	8	0
小坂	7	7	0

出典：市提供資料

② 特別運行拠点毎の乗降客数

特別運行拠点の乗降客数は上位３位を医療機関が占めており、この３施設で全体の 1/3 以上を占めている。また、７割以上の特別運行拠点では乗車人数が降車人数の倍以上、または半分未満であった。

表　令和５年におけるラビットくんの特別運行拠点別乗降人数（1/2）

乗降場所名	乗降人数	乗車人数	降車人数
総計	**8954**	**3140**	**5814**
小川整形外科医院	1743	635	1108
金上病院	969	88	881
同済病院	517	102	415
商営駐車場	414	381	33
角田駅	334	136	198
仙南病院	317	36	281
名取医院	315	64	251
みやぎ仙南農業協同組合　角田支店	302	26	276
くるみ薬局	276	267	9
総合福祉センター(ウエルパーク)	270	113	157
角田郵便局	269	41	228
ツルハドラッグ角田中央店	266	139	127
さくら薬局	239	237	2
大槻眼科医院	228	40	188
角田市役所	223	45	178
高山内科胃腸科医院	223	13	210
七十七銀行　角田支店	155	25	130
市民センター	134	30	104
仙台銀行　角田支店	122	19	103
おおとも接骨院	112	28	84
せきね歯科クリニック	105	32	73
阿部内科医院	104	12	92
かまた歯科医院	100	28	72
牛木整骨院	82	34	48
吉田歯科医院	79	20	59
南町薬局	78	78	0
太田歯科医院	76	24	52
仙南信用金庫　角田支店	66	15	51
油井眼科医院	65	15	50
セブンイレブン　角田西田町店	53	31	22
めぐろ鍼灸整骨院	53	20	33

出典：市提供資料

表　令和５年におけるラビットくんの特別運行拠点別乗降者数（2/2）

乗降場所名	乗降者数	乗車者数	降車者数
角田ふれあいクリニック	51	18	33
毛利薬局	50	49	1
宍戸歯科医院	50	16	34
マリーン調剤薬局　角田店	49	49	0
北町薬局	42	40	2
竹内歯科医院	42	9	33
さいとう歯科医院	36	6	30
コスモ薬局	34	23	11
ローソン角田中央店	30	19	11
細川薬局	27	19	8
角田市商工会	26	15	11
あるふあ薬局　仙南病院前店	19	19	0
マルセン	18	14	4
中華料理かんの	17	9	8
大久保歯科医院	16	8	8
道の駅かくだ	15	7	8
伊藤歯科クリニック	11	0	11
氏家歯科医院	10	4	6
いこいの整骨院	5	2	3
西村薬局	5	1	4
屋内温水プール	4	2	2
図書館	4	1	3
すずき生花店	4	0	4
中央薬局	4	0	4
郷土資料館	3	2	1
中川時計店	3	2	1
角田警察署	2	1	1
総合体育館	1	0	1

出典：市提供資料

3） 市内循環バスの利用状況

① 前年との合計乗車人数比較

令和５年度に比べて令和６年度の合計乗車人数はおよそ 1.5 倍となった。

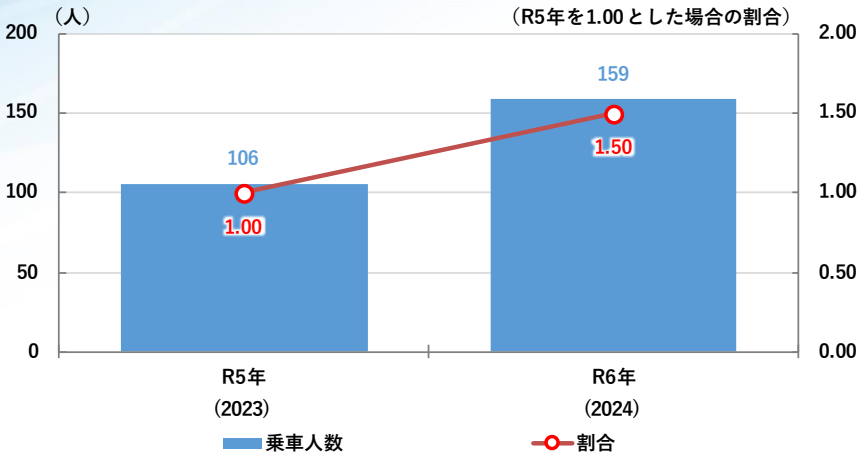


図　市内循環バスにおける乗車人数の推移

出典：市提供資料

② 便毎の平均乗車人数

１便（10 時台）の 2.7 人を除いたすべての便において４人以上が利用している。

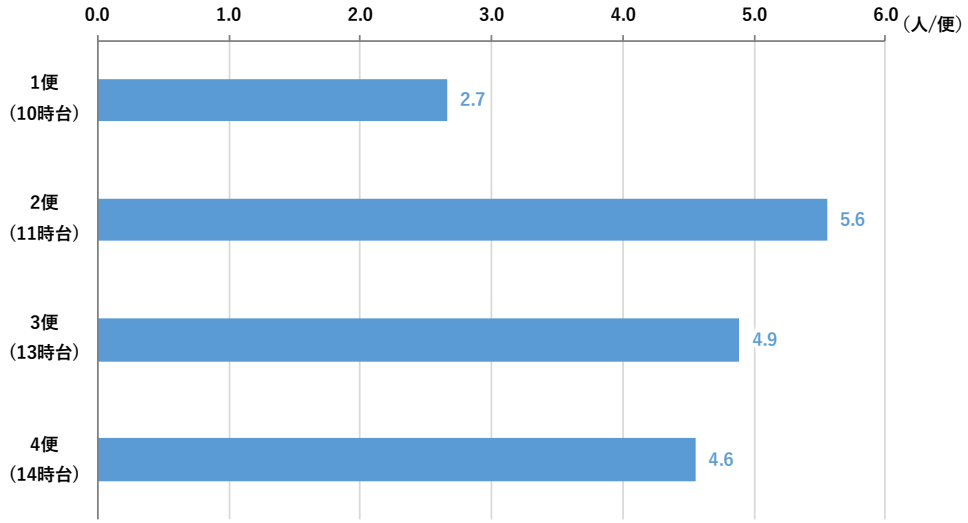


図　令和６年における市内循環バスにおける便毎の平均乗車人数

出典：市提供資料

③ 月毎および日毎の合計利用者数と日あたり利用者数平均の推移

日あたり利用者数平均が最多となったのは８月４日の１日のみ運行した８月であった。なお、１日の利用者数が最も多かったのは三連休の最終日であった 10 月 14 日の 37 人であった。

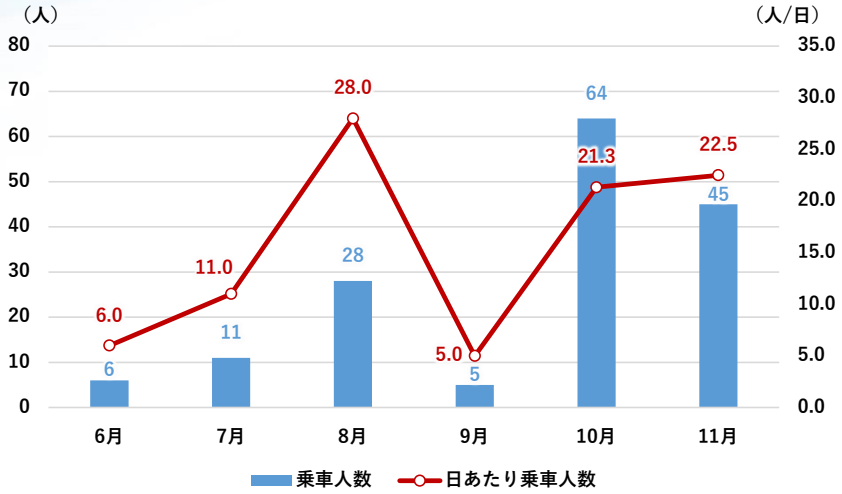


図　令和６年における市内循環バスの月別乗車人数と
日あたり乗車人数平均の推移

出典：市提供資料

表　市内循環バスにおける運行日毎の乗車人数

運行日	角田駅	台山公園	郷土資料館	道の駅	合計人数
６月 16 日	2	1	1	2	6
７月　７日	7	1	0	3	11
８月　４日	13	0	0	15	28
９月　８日	3	0	0	2	5
10 月　６日	14	4	0	3	21
10 月 14 日	20	0	2	15	**37**
10 月 27 日	2	0	2	2	6
11 月　３日	5	0	0	17	22
11 月 17 日	16	0	0	7	23

出典：市提供資料
※赤太文字は最多の利用者数

4） スクールバスの利用状況

既に統合が実施された角田中学校と金津小学校が、50 人以上利用しているのに対して、他の小中学校では 30 人未満の利用者に留まっている。

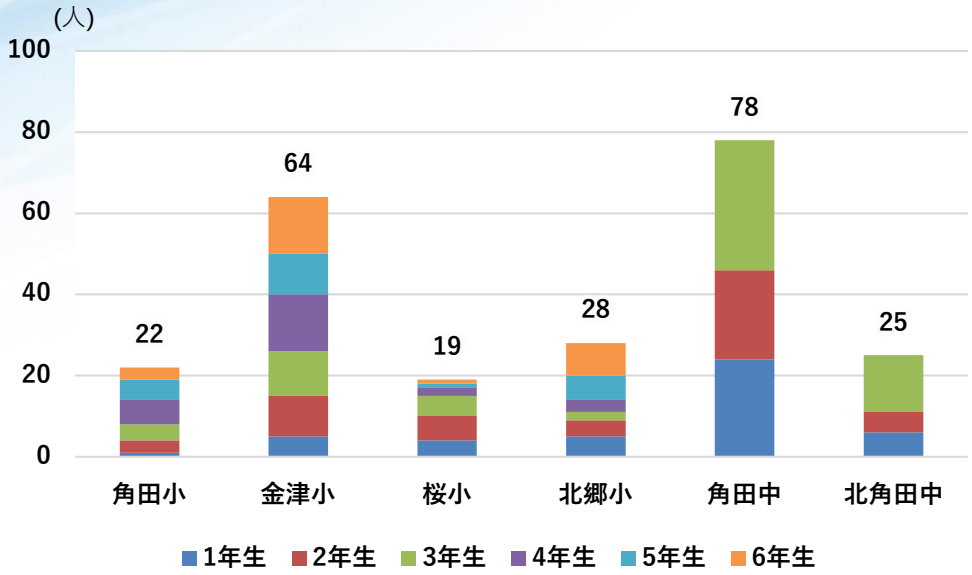


図　令和 6 年におけるスクールバスの学校別登録者数

出典：市提供資料

5） みやざ県南中核病院通院等タクシー利用助成事業の利用状況

① 合計助成額と述べ利用者数および登録者数の推移

合計助成額は３年間でおよそ２倍となった。ただし延べ利用者数は４倍以上となり、補助対象となる 6,000 円よりも高い利用費となる移動需要があることが推測される。

なお、平均助成額は令和４年で 2,029 円、令和５年で 2,133 円となっている。

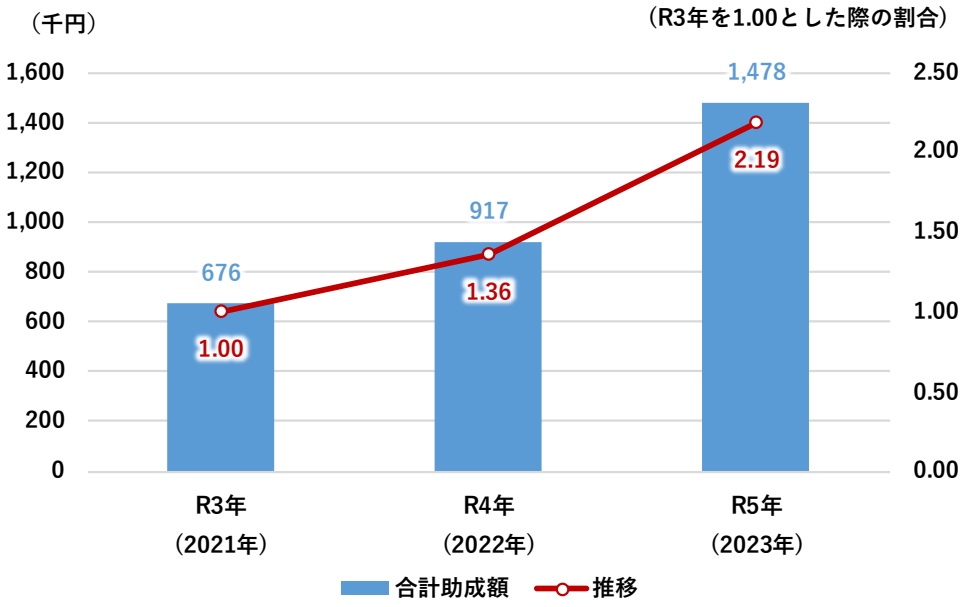


図　みやざ県南中核病院通院等タクシー利用助成事業の事業費推移

出典：市提供資料

※令和 3 年はみやざ県南中核病院通院等アクセス実証事業のデータ

図　みやぎ県南中核病院通院等タクシー利用助成事業の利用延べ人数および登録者数推移

出典：市提供資料
※令和３年はみやぎ県南中核病院通院等アクセス実証事業のデータ
※令和３年は非登録制で実施したため、登録者数のデータなし

② 地区別の利用者数および登録者数推移

地区別の利用者数については小田を除く全ての地域で増加しているものの、本市内全体において登録者に対する利用者の割合は令和４年と令和５年の各年でおよそ50%であり、70%よりも高い地域はなかった。

なお、令和５年において延べ利用者数が693回であることを踏まえると、１利用者あたりの平均利用回数はおよそ７回ということになる。

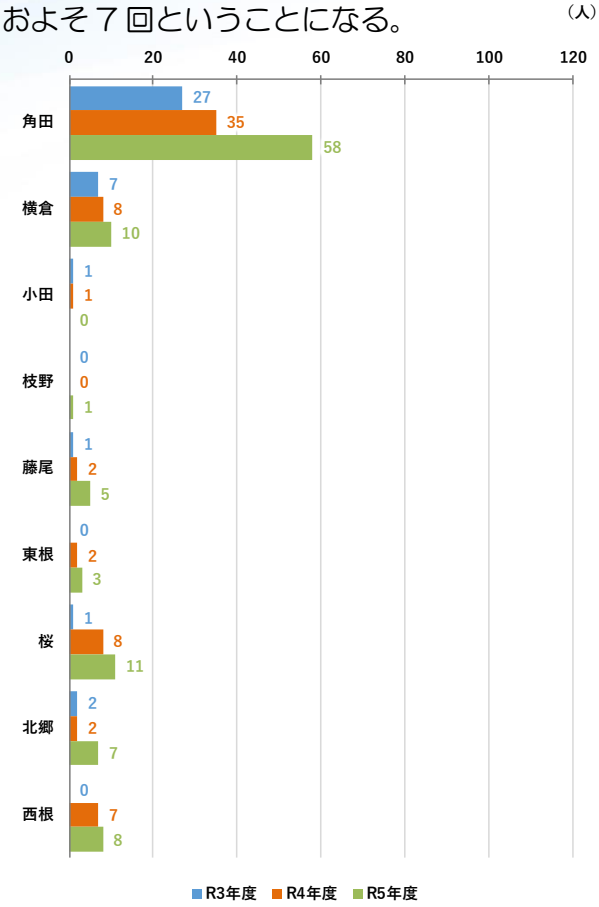


図　地区別の利用者数推移

出典：市提供資料

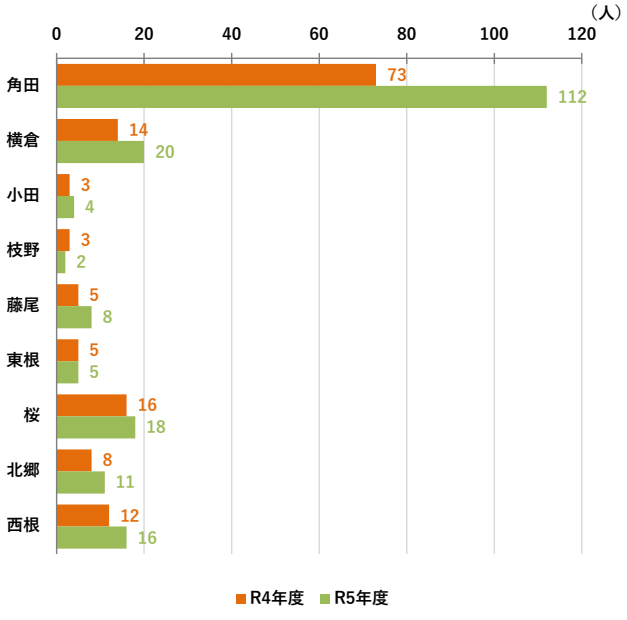


図　地区別の登録者数推移

出典：市提供資料

③ 年代別の登録者数推移

登録者の増加数としては 70 代が 31 人増加と最も多かった。一方で 80 代と 90 代の増加数は 10 人未満となっている。

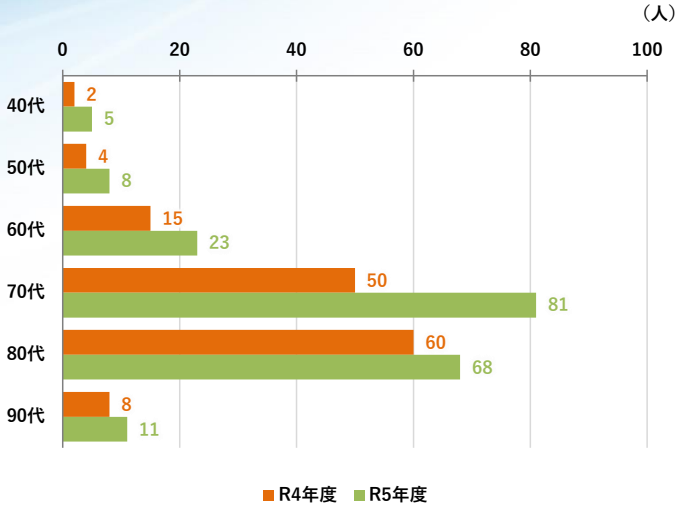


図　年代別の登録者数推移

出典：市提供資料

2-3 打合せ協議

本業務の実施にあたっては、計２回の打合せを実施した。
打合せ協議の議事録を資料編に示す。

表　打合せ実績

回	実施時期	協議内容
第１回 （業務着手時）	令和７年 １月１４日	○業務計画書について ○調査にかかわる情報提供内容について　など
第２回 （納品時）	令和７年 ３月２６日	○成果品について（作成後）